

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00728)

事務事業名称		オリンピック・パラリンピック教育の推進			款	07	項	01	目	03	事業	021	整理番号	505
現担当課名		済美教育センター		係名	教育指導係			連絡先電話番号	3311-0021		昨年度整理番号			
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	臨時事業				
事務事業の概要	事業開始	平成28年度												
	平成28年度担当課名	済美教育センター			事業評価区分	一般								
	対象	区立小中学校、子供園、特別支援学校の児童、生徒、園児			根拠法令等	(1)		平成28年度オリンピック・パラリンピック教育推進事業実施要項						
						(2)		「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標	オリンピック・パラリンピック教育推進校								
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を、多様なスポーツに触れるとともに、国際理解や障害者理解、日本人としての自覚や誇りを深める好機ととらえ、オリンピック・パラリンピック教育の展開により、子供たちが、その後の人生の糧となるかけがえのないレガシーを自身で獲得していくようにしていきます。				指標名(1)	オリンピック・パラリンピック教育推進校								
					指標説明	オリンピック・パラリンピック教育を推進する区立小学校、中学校、特別支援学校、子供園の数								
					指標名(2)									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明										
東京都からの委託金を活用し、区立学校・子供園が、学習指導要領の目標達成を目指し、各教科等の学習内容・活動とオリンピック・パラリンピックを関連付け、「4つのテーマ」(障がいのある人への理解、スポーツ、文化、環境)と「4つのアクション」(学ぶ(知る)、観る、する(体験・交流)、支える)を組み合わせた取組みを展開し、教育委員会はそのための支援を行う。				成果指標										
				指標名(1)										
				指標説明										
				指標名(2)										
				指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 校				71	71	71	100.0					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円				21,700	18,979	21,700	平成28年度 予算執行率(%)	87.5				
	(内)投資的経費等	6 千円				0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円				985	602	1,130	予算執行率が90%に満たないのは、全ての学校・子供園が高い執行率を達成しているわけではないことに起因する。					
	職員数	常勤職員数	8 人				0.50	0.50	0.50					
		再任用職員数	9 人				0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人				0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円				4,374	4,281	4,281					
		再任用職員分	12 千円				0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円				0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円				26,074	23,260	25,981						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円				367,239	327,606	365,930						
	財源	受益者負担分	16 千円				0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円				0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円				21,700	18,979	21,700					
その他の補助金等		19 千円				0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円				21,700	18,979	21,700						
差引:一般財源(14-20)		21 千円				4,374	4,281	4,281						
受益者負担比率(16÷14)	22 %				0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	505
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		小学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	41	校	10,853
		中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	23	校	6,286
		子供園におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	6	園	1,610
		特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	1	校	230
		その他( )			
(2) 事業実績	東京都からの委託金(1校当たり300千円)を活用して、各学校・子供園が教育課程の中に位置づけオリンピック・パラリンピックの精神、障がいのある人への理解、スポーツ、文化、環境に関連付けた教育を推進しています。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成28年度は1校当たりの委託料が300千円でしたが、平成29年度は250千円となりました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を機に、学校の教育活動を充実させる好機ととらえるとともに体験的な活動や外部講師との連携による教育活動により教育の質の向上が期待できるとの声が寄せられています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年までは本事業は同一規模で継続されることが予想され、各学校の取組が充実し、オリンピック・パラリンピック教育の更なる推進が期待されます。			
評価と課題	<p>事業初年度であり、各学校・子供園ともオリンピック・パラリンピック教育をどのように教育課程の中で位置付け、効果的な事業展開を実施していくか戸惑いが見られ、取組内容や予算の執行状況に学校間の格差が見受けられますが、多くの学校で積極的に取り組んでいる姿勢が評価できます。優れた事例や効果的な取組をを今後に有効的に水平展開していくための機会づくりや情報提供が重要です。</p> <p>また、取組状況に課題が見受けられたり、十分な予算執行を行っていない学校には指導主事の学校訪問の際等に改善のためのアドバイスを行う等の対応をしていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	東京都の事業方針・規模は、概ね同規模で推移していくことが予測されます。事業開始から3年目を迎え、東京都から示された規模の中で、各区立学校・子供園が区内他校や多自治体での取り組み等も参考としながら、より効果的な教育を推進していける情報提供や支援体制を工夫していきます。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00517)

事務事業名称		社会教育委員			款	07	項	05	目	01	事業	001	整理番号	532
現担当課名		生涯学習推進課			係名			管理係			連絡先電話番号	1663	昨年度整理番号	531
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成元年度												
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	一般		
	対象	社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民			根拠法令等	(1)	社会教育法第15～18条			(2)	杉並区社会教育委員の設置に関する条例			
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。			活動指標	指標名(1)	会議開催回数			指標説明	延べ会議出席委員数			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者合計9名以内で構成し(任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要な場合は教育委員会に対して答申や提言などを行う。			成果指標	指標名(1)	NPO法人認証団体数			指標説明	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数			
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	回	6	12	8	12	7	8	58.3				
	活動指標(2)	2	人	70	108	67	108	55	72	50.9				
	成果指標(1)	3	団体	341	330	345	350	342	350	97.7				
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,140	1,866	1,118	1,815	1,022	1,579	平成28年度 予算執行率(%)		56.3		
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		会議回数減による、委員報酬の予算執行残となっています。次年度は開催回数を調整しています。		
	(内)委託費	7	千円	242	429	280	462	326	447					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.90	0.90	1.10	1.30	1.50	1.30				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.10	0.10	0.10	0.80	0.80	0.80				
	人件費	常勤職員分	11	千円	7,929	7,929	9,622	11,371	12,843	11,131				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13	千円	283	283	294	2,348	2,377	2,377				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	9,352	10,078	11,034	15,534	16,242	15,087					
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,558,667	839,833	1,379,250	1,294,500	2,320,286	1,885,875					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	9,352	10,078	11,034	15,534	16,242	15,087					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	532	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		社会教育委員報酬の支出		55	人	678
		社会教育委員の会議録作成委託		12	時間	308
		通信費、事務費				36
	その他（ ）					
(2) 事業実績	平成28年度には、前年度検討した次世代型科学教育事業の実施状況等をもとに、「出前型・ネットワーク型」への方向性が、高齢化の一層の進展や地域団体等の活動が活発化しています。その中で、生涯学習事業全般において有効であるかどうかという観点から検証しました。実行計画や施設再編整備計画第一次実施プランの改定も踏まえつつ、「今後の生涯学習にかかる事業の展開に向けて」として第14期杉並区社会教育委員の会議まとめを作成しました。					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	社会教育委員の会議は、平成2年度の制度発足以来、14期目を終わりました。これまで区民の生涯学習環境の整備や、社会教育関係団体等の活動支援など、区社会教育行政に対して提言や答申を行ったり、新たな教育ビジョン・同推進計画等における社会教育分野での取組に一定の方向性を示したりしてきました。これまで幾度となく既存計画の見直し等に合わせた変更・反映を重ねていますが、社会教育については地域の自主性や自立性に見合った区独自のあり方が求められています。 社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104 H29.3.31 342				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	区民の学習活動や関わる関連部署が多様になるなど、区民や地域の中に生涯学習社会への理解が広がりがつつある中で、社会教育に対する認知度や関心が捉えにくくなる状況にあります。このため、社会教育委員が、社会教育関係機関や社会教育関係団体等との意見交換を通じて、地域社会がどう変わり、区民が何を求めているかを模索することが望まれます。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	平成29年4月の社会教育法等の改正により、「地域学校協働活動」に関する連携協力体制の整備や「地域学校協働活動推進員」に関する規定等が整備されました。学校教育のためだけでなく、区民の生涯学習・社会教育においても、学びを通じた学校区の地域づくりの推進が期待されています。このような動向を踏まえ、科学教育の「出前型・ネットワーク型」による事業展開をもとに、地域において区行政の取組と区民主体による地域活動とを結実した活動が積極的に展開され、幅広い区民の生涯学習・社会教育の充実と地域づくりにつなげる必要があります。				
	評価と課題	高齢化の一層の進展による地域社会の変化や地域団体等による活動の活発化に応じ、その成果を活かせる地域づくりを進めるため、区民が主体的に社会活動に関わることができるようになることをめざしています。このため、これまで以上に区民による生涯学習・社会教育の活性化を図るには、身近なところで気づきを促し、地域に潜在する力を生かして学びを豊かにしていく事業展開の検討が必要です。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	今回のまとめを踏まえ、科学教育だけではなく「出前型・ネットワーク型」による社会教育事業の運営、あるいは次世代型科学教育を含む生涯学習全般での新たな拠点の実現に向けた検討等が課題となっています。区と区民との双方にとって大きな転換期であることから、事業の実態や成果等の報告をもとに、社会教育の観点から「出前型・ネットワーク型」による事業推進についての協議し事業を効果的に進め、社会教育の充実につなげていきます。				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00518)

事務事業名称			生涯学習振興室の維持運営				款	07	項	05	目	01	事業	002	整理番号	533	
現担当課名			生涯学習推進課				係名		管理係		連絡先電話番号		1662		昨年度整理番号	532	
上位施策No・施策名											29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成 7年度														
	平成28年度担当課名		生涯学習推進課								事業評価区分		一般				
	対象		区民一般				根拠法令等		(1)		学校教育法第137条		(2)		杉並区立学校の開放に関する規則		
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		区民及び団体等に小学校の余裕教室を有効活用した生涯学習振興室(ゆうゆうハウス)を設置することにより、生涯学習と社会教育活動の場を提供する。				活動指標		指標名(1)		個人学習室利用者数		指標説明				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		生涯学習振興室(愛称:ゆうゆうハウス)2所の運営 対象:個人及び団体 生涯学習の場として個人学習室を設置 ・西田:個人学習室1室(42席) ・杉九:個人学習室1室(36席)				成果指標		指標名(1)		個人学習室利用率		指標説明		個人学習室利用者数÷個人学習室席数		
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	人	20,873	26,300	20,727	26,300	20,414	26,300			77.6				
	活動指標(2)		2														
	成果指標(1)		3	%	79	80	79	80	79	80			98.8				
	成果指標(2)		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	19,307	20,721	19,754	20,533	19,012	20,884	平成28年度予算執行率(%)		92.6				
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	17,004	17,266	17,050	17,511	17,060	17,968							
	職員数	常勤職員数		8	人	0.24	0.20	0.31	0.30	0.31	0.30						
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人	0.20	0.20	0.20	0.30	0.30	0.20						
	人件費	常勤職員分		11	千円	2,114	1,762	2,712	2,624	2,654	2,569						
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分		13	千円	566	566	587	881	891	594						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	21,987	23,049	23,053	24,038	22,557	24,047							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	1,053	876	1,112	914	1,105	914							
	財源	受益者負担分		16	千円	16	36	16	36	30	36						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	16	36	16	36	30	36								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	21,971	23,013	23,037	24,002	22,527	24,011								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	533
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託	15,984	時間	16,125
		光熱水費	2	所	935
		清掃業務委託	629	m <sup>2</sup>	476
		電子複写機使用料	2	台	356
		その他（電話料、機器保守委託等維持管理費）			1,120
	(2) 事業実績	<p>ゆうゆうハウス2施設の運営については、委託業者と情報を共有しながら、円滑な業務の運営及び区民の利便性の向上に向けた改善を行いました。また施設の維持管理については、西田ゆうゆうハウスでは空調機の取換工事、扉開閉装置の取換工事を行うと同時に工期もできるだけ短く済むように調整をし、杉九ゆうゆうハウスでは、耐用年数を迎えた自動扉の部品取替工事を行いました。2施設共に、必要な物品購入などを定期的に行い、運営業務の向上及び施設維持管理とあわせて区民の学習活動を最大限に支援しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>個人学習室利用率（個人学習室利用者数／個人学習室席数）                      （西田：H11～13、90%超、H25 70.3%、H26 73.4%、H27 72.5%、H28 69.5%）                      （杉九：H11～13 100%超、H25 78.0%、H26 86.5%、H27 85.7%、H28 89.1%）</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>使用している人からは、朝早くから夜遅くまで開いていることと、無料であることから大変便利であるという意見がある一方で、現在の2施設以外の地域（自宅近く）にも学習の場を設置してほしいという要望が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>自主学習室利用者の目的・年齢層等は多様であり、今後も一定の需要は続くと思われまます。一方で施設が2カ所という地域偏在や、施設運営に掛かるコストについては検証し、今後のあり方を考える必要があります。同様の施設を区立小学校内に作ることは、学校の空き教室が減少していることから困難と考えられ、区内各所にある既存区立施設の活用など、新たな運営形態を考えてまいります。</p>			
	評価と課題	<p>個人学習室はここ数年70%から80%台の利用率で推移しており、月別で7、8月と、1、2月に特に利用率が増えるという特徴も特に変化はありません。利用者についても、高齢者、大学受験をする浪人生、高校生が中心という内訳に大きな変化はなく、今後も高い利用率が続くとみられます。一方で、地域によっては自宅から遠く、施設を利用しづらい旨の意見が寄せられていることや、施設運営に掛かるコストが課題となっています。現在の空き教室の有効利用という形での新規の設置は困難であるため、新たな発想での検討が求められています。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>新たな学習施設（または学習スペース）のあり方については、図書館の改修・改築に合わせて検討し、地域偏在をなくすことなどを踏まえて、自主学習室の在り方を検討します。また平行して、現在の2施設の費用対効果を分析して、区民ニーズ等を踏まえながら、施設のあり方を多面的に検討してまいります。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00519)

事務事業名称 社会教育の振興			款 07	項 05	目 01	事業 003	整理番号 534			
現担当課名 生涯学習推進課		係名 管理係		連絡先電話番号 1662		昨年度整理番号 533				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成 8年度								
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課		事業評価区分 一般						
	対象	社会教育活動を行う個人及び団体		根拠法令等 (1) (2)	杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。 次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	生涯学習指導者傷害保険加入指導者数 大学連携協働推進協議会等開催回数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	教育委員会後援等名義使用承認による社会教育関係団体の活動支援 区と区内高等教育機関(明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・立教女学院短期大学・東京女子大学)との包括協定(平成23年12月2日締結)に基づく連携協働の推進 生涯学習活動の指導者傷害保険への加入による団体指導者等への活動の支援 小学生名寄自然体験交流 小学5・6年生25名 北海道名寄市に派遣(2泊3日)		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	指導者傷害保険加入団体会員数 後援名義使用承認事業数					
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成27年度 実績	平成28年度 計画 (目標値)	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	3,700	5,000	3,730	5,000	3,668	5,000	73.4	
	活動指標(2)	2 件	3	5	5	5	3	5	60.0	
	成果指標(1)	3 人	60,265	70,000	60,520	70,000	59,423	70,000	84.9	
	成果指標(2)	4 件	152	150	152	150	155	150	103.3	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	5,649	6,535	5,444	7,203	4,610	7,996	平成28年度 予算執行率(%) 64.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 名寄自然体験交流の航空運賃が早割りで購入できたため、旅費が大幅に低く抑えられたことにより、執行残が発生した。	
	(内)委託費	7 千円	2,929	3,552	3,317	3,131	2,175	3,722		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.00	2.00	2.10	2.00	2.10		2.00
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.20	0.20	0.20	0.60	0.60		0.80
	人件費	常勤職員分	11 千円	17,620	17,620	18,369	17,494	17,980		17,124
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	566	566	587	1,761	1,783		2,377
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	23,835	24,721	24,400	26,458	24,373	27,497		
	単位当たりコスト (14-6)÷1)	15 円	6,442	4,944	6,542	5,292	6,645	5,499		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	23,835	24,721	24,400	26,458	24,373	27,497		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	534
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		小学生名寄自然体験交流	25	人	3,220
		生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	3,668	人	603
		連携協議会開催	3	回	5
		通信費・管理事務費ほか			782
	(2) 事業実績	<p>小学生名寄自然体験交流事業については、次世代育成基金を活用し、小学生25名を交流自治体である名寄市に派遣し、国内最大級の望遠鏡での天体観測や、豊かで厳しい大自然の中での現地の子と交流を体験することで、科学への知的好奇心や、豊かな人間性を育み、将来の夢に向かって健やかに成長できるよう支援をしました。大学連携では、区内6大学による連携協議事業を通して、すぎなみフェスタ2016の実施に協力するとともに、包括協定のもと、今後の新たな取組についての検討を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>小学生名寄自然体験交流事業（以下「交流事業」という。）を平成24年度より開始。毎年25名を名寄市に派遣。 生涯学習活動の指導者傷害保険（以下「傷害保険」という。）契約人数（稼働人数/日）H24：74団体3,805人、H25：78団体3,821人、H26：77団体3,700人、H27：82団体3,730人、H28：78団体3668人。 後援等名義使用承認件数 H24:126件、H25:154件、H26:152件、H27:152件、H28:155件。 杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進（以下「大学連携」という。）協議会開催延回数 H24 3回、H25 4回、H26 3回、H27 5回、H28 3回。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>交流事業、参加児童の保護者から「大自然の中で『自信』を得ることができた経験は、これから人生を歩む上で本人の支えとなっていくと思います」といった意見が多数あり、当初の目的はおおむね達成できています。今後は児童の体験や成長を一人でも多くの子もたちに還元するとともに、広く区民の方に学習成果発表会へ参加いただけるよう、より一層充実を図ることが求められています。傷害保険は、区民が安全に安心して活動できる環境に貢献し、今後も継続的な展開が望まれます。後援等名義使用承認は、広報紙掲載等による団体活動の支援となっているとのご意見をいただいています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>交流事業は、PRの効果もあり、応募する児童数は今後も次第に増えていくと思われ、区民への認知度も高まっていくと予想されます。傷害保険は、今後も加入希望者は増えていくと予想されますが、それに伴い、事故等による保険金の払い出し件数も増加することが考えられ、保険金額の増加等も予測しながら、コストの削減に向けた取り組みなども必要となってくると思われ。大学連携は、現在進行中の高校・大学教育及び入試制度の改革により、大学が地域と連携協働事業をする重要度の増大などが予想されることから、激しく変化する大学教育の在り方も含めて今まで以上に密接に連携していくための準備が必要です。</p>			
	評価と課題	<p>交流事業は、OB児童が積極的参加し、派遣児童が次年度以降も継続的に関わっていく仕組みが定着してきました。また学習成果発表会の来場者数増加が見られ、派遣児童の成果を広く還元していくという目的も達しつつあります。傷害保険は、加入者の適正化のため対象者の精査を行い、他保険との重複契約者は除外するなど、保険契約コストの適正化を図ることができましたが、今後も精査は続けていく必要があります。後援等名義は、教育・文化等の向上普及、公益性がある事業について、区長部局と情報共有・連絡調整を図り承認することで、生涯学習活動を行う区民の支援に取り組むことができました。大学連携は、地域課題解決のための様々な取組と大学との関わりかたなどの調整をしました。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>交流事業は予算を現状維持とし、今後も参加児童が貴重な体験や学習を通じて自らを成長させるのみならず、その成果を学校・家庭・地域に広げていけるよう、OBOG会の支援を継続し、事業を推進していきます。また、旅費については、引き続き現行の制度の中で、執行段階で経費節減に努めていきます。傷害保険は、加入者の精査や他の保険との給付内容等の比較を行い、事業を検証していきます。後援等名義は、今後も区長部局との情報共有・連絡調整を継続し、多様化する区民の生涯学習活動の支援に取り組みます。大学連携は、各大学による連携と地域での様々な取組で、地域社会の発展と人材育成に寄与していきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00520)

事務事業名称 学校開放施設の団体・区民利用等			款 07	項 05	目 01	事業 004	整理番号 535			
現担当課名 学校支援課		係名 学校開放担当係		連絡先電話番号 1646		昨年度整理番号 534				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事業開始 昭和58年度										
平成28年度担当課名 学校支援課		事業評価区分 一般								
対象 区内在住・在勤・在学者		根拠法令等 (1) 社会教育法第44、45、47、48条 (2) スポーツ振興法第13条								
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 学校施設を区民のスポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として有効に活用するとともに、区民の自主的活動を活発にし、学校を中心とした地域のコミュニティ意識の高揚を図る。		活動指標 指標名(1) 学校開放延開放回数(遊びと憩いの場・登録団体・プール) 指標説明 学校開放登録者総数 指標名(2)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 「遊びと憩いの場」として、小学校(杉十小学校、新泉和泉小学校を除く)の校庭を、水、土、日曜日、祝日、学校休業日(年末年始を除く)の決められた時間に、児童及び幼児、高齢者に開放する。スポーツ・文化活動の場として、児童及び生徒が使用していない時間に、小中学校の校庭(杉十小学校を除く)・体育館・教室を、登録した団体に開放する。身近に利用できる遊泳場として、一部の小中学校のプールを夏休みの一定期間に開放する。		成果指標 指標名(1) 遊びと憩いの場延べ利用者数 指標説明 指標名(2) 登録団体延べ利用者数 指標説明							
	区分		単位	平成26年度実績	平成27年度計画	平成27年度実績	平成28年度計画(目標値)	平成28年度実績	平成29年度計画	平成28年度対計画比(%)
	指標		活動指標(1)	1 回	35,465	38,000	33,543	38,000	33,937	38,000
		活動指標(2)	2 人	16,272	17,000	16,535	17,000	15,507	17,000	91.2
		成果指標(1)	3 人	133,018	140,000	131,449	140,000	133,216	140,000	95.2
		成果指標(2)	4 人	790,470	800,000	784,861	800,000	784,467	800,000	98.1
		事業費	5 千円	88,241	86,997	85,192	88,934	83,829	92,915	平成28年度予算執行率(%) 94.3
		(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項
		(内)委託費	7 千円	28,615	27,751	26,679	30,592	27,730	32,747	
		職員数	8 人	2.00	3.00	3.12	3.00	3.23	3.00	
		再任用職員数	9 人	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		人件費	11 千円	17,620	26,430	27,291	26,241	27,655	25,686	
		再任用職員分	12 千円	4,050	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	2,830	2,830	2,935	2,935	2,971	2,971	
		総事業費(5+11+12+13)	14 千円	112,741	116,257	115,418	118,110	114,455	121,572	
		単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	3,179	3,059	3,441	3,108	3,373	3,199	
		財源	16 千円	6,715	11,813	14,848	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0	
		特定財源計(16+17+18+19)	20 千円	6,715	11,813	14,848	0	0	0	
		差引：一般財源(14-20)	21 千円	106,026	104,444	100,570	118,110	114,455	121,572	
		受益者負担比率(16÷14)	22 %	6.0	10.2	12.9	0.0	0.0	0.0	

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	535
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		学校開放指導員謝礼の支出	40	校	22,892
		学校開放に伴う光熱水費	64	校	22,990
		プール開放運営委託	7	校	13,464
		学校施設維持管理費			15,283
		その他（通信運搬費・医薬品の購入ほか）			9,200
事業環境の変化と方向性	(2) 事業実績	平成28年9月から久我山小学校及び桃井第五小学校において、区立公園の保育施設転用に伴う遊び場の代替措置として、「遊びと憩いの場」開放を長期休業期間外の平日は木曜日を除き、毎日実施しました。 プール開放は7校で実施し、計3,169名の利用がありました。			
		<p>学校開放が現在とほぼ同様の仕組みとなったのは、昭和61年度です。当時と比し「遊びと憩いの場」開放については利用者が半減する一方、団体開放については、登録団体数としては1.4倍、利用人員数は2.4倍に増えています。 学校支援本部の活動や中学校の部活動が活発になり、また土曜授業など学校使用の増加により、登録団体が利用できる時間は減少しています。 なお、平成27年1月から登録団体（少年団体を除く）の使用料を有料化しました。</p> <p>学校開放事業に活用できる時間の減少に伴い、校庭を利用する登録団体からは利用時間の確保の要望があります。特に、校舎改築等に伴い長期間施設が利用出来ない場合、利用回数の減や代替施設の使い勝手等の見地から理解が得られないケースが多くなっています。さらに有料化に伴い、施設の設備や消耗品等の充実を求める意見があります。 近隣住民からは、利用者の声・打球音や、学校付近での喫煙など利用者のマナーに関する苦情や意見が寄せられています。</p> <p>小中一貫教育校の建設や小学生の放課後等居場所事業の実施などにより、「遊びと憩いの場」開放については実施校は減少していきます。 団体開放についても登録団体が利用できる施設、時間は減少していきますが、できる限り登録団体の活動する施設、時間を確保するように調整をしていくことが求められております。</p>			
事業開始当初から現在までの変化	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
今後（3～5年）の予測と方向性	評価と課題	<p>校舎改築工事により、「遊びと憩いの場」開放の休止や登録団体の活動回数が減少した学校がある一方、区立公園の保育施設転用に伴う遊び場の代替措置として、「遊びと憩いの場」の開放日を増やした学校もありましたが、学校開放事業はほぼ順調に行われています。 29年度は高円寺中学校で新しい小中一貫教育校の建設工事が始まり、登録団体の利用が制限されることが予想されます。杉並第四・杉並第八小学校の活用や他の地域の施設利用も併せ、登録団体の活動をできるだけ確保していく工夫をしていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
		<p>けやき公園プール廃止に伴う代替措置として馬橋小学校のプール開放を実施するなど、学校施設は地域の拠点施設として多方面での活用が望まれていることから、各校長・副校長或いは利用者団体協議会（全中学校と杉一小・杉十小に設置された利用調整機関）とも情報共有を密にしながら連携を深め、効果的・効率的な学校施設の地域開放を実施していきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00521)

事務事業名称		文化財調査・保護			款	07	項	05	目	01	事業	005	整理番号	536	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			文化財係			連絡先電話番号	1666	昨年度整理番号	535	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度			主要事業(区政経営報告書掲載事業)										
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課			事業評価区分 一般										
	対象	区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般			根拠法令等	(1)	文化財保護法		(2)	杉並区文化財保護条例					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区内の文化財を保護する。 文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できる。			活動指標	指標名(1)	埋蔵文化財窓口照会件数		指標説明	杉並区文化財指定登録総件数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	文化財調査を進め、必要と認められたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報を提供、区内団体などと協働し、文化財の公開や文化財保護思想の普及を図る。 埋蔵文化財の適切な保護・保存を図り、活用に資する発掘調査を実施する。 国の史跡指定を受けた荻外荘の歴史的価値等を限定公開や講演会開催等で広く区民等に周知する。近衛文麿関係資料等の定期的な調査を継続実施する。			成果指標	指標名(1)	埋蔵文化財調査日数		指標説明	杉並区文化財保護奨励金の交付件数					
区分		単位	平成26年度実績	平成27年度計画	平成27年度実績	平成28年度計画(目標値)	平成28年度実績	平成29年度計画	平成28年度対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	件	2,844	3,000	3,003	3,000	3,198	3,000	106.6					
	活動指標(2)	2	件	143	145	145	147	146	147	99.3					
	成果指標(1)	3	日	263	250	237	250	265	250	106.0					
	成果指標(2)	4	件	116	116	116	118	118	118	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	19,345	16,902	14,789	14,431	11,830	13,628	平成28年度予算執行率(%)	82.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	79	100	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	11,396	5,977	4,862	4,880	3,780	5,308	荻外荘遺構調査指導を約3か月かけて、高井戸公園試掘調査指導を約2か月をかけて実施し、費用負担はそれぞれ区都市整備部門と東京都でした。					
	職員数	常勤職員数	8	人	3.08	3.00	3.11	3.00	3.10	3.00	埋蔵文化財の発掘調査費は、文化庁・東京都の補助金額の減により、区の発掘調査費に減が生じました。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	指標について、埋蔵文化財の照会の結果、本調査が生じるのであって、調査の種別に意味はないため今回見直すこととし、埋蔵文化財照会件数を活動指標に、調査日数を成果指標にしました。				
		非常勤職員数	10	人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	27,135	26,430	27,203	26,241	26,542	25,686					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	14,150	14,150	14,675	14,675	14,855	14,855					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	60,630	57,482	56,667	55,347	53,227	54,169						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	21,291	19,127	18,870	18,449	16,644	18,056						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	2,451	2,000	2,000	2,000	1,420	2,100					
		都からの補助金等	18	千円	1,225	1,000	1,000	1,000	710	1,050					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,676	3,000	3,000	3,000	2,130	3,150						
差引:一般財源(14-20)	21	千円	56,954	54,482	53,667	52,347	51,097	51,019							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	536
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		指定登録候補等調査委託	3	件	450
		指定登録文化財保護奨励	118	件	1,825
		埋蔵文化財調査委託	7	件	2,871
		文化財案内標示板等作成・修理	9	基	1,425
		その他(文化財保護審議会の運営、刊行物発行ほか)			5,259
(2) 事業実績	<p>荻外荘国史跡指定記念特別展を開催、関連イベントとして講演会、建物一部公開を実施しました。陽明文庫所蔵近衛文麿関係資料の調査を計5回、陽明文庫と共同で実施しました。荻外荘北側敷地遺構調査を実施し、移築建物の基礎を確認しました。区文化財として、荻外荘に残された歴史資料を文化財指定しました。荻外荘や近衛文麿関係資料を多数調査し、荻外荘紹介冊子(文化財シリーズ46)を発行しました。荻外荘記念行事では、文化財ボランティアに案内や展示解説等、多くの協力を得ました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>文化財シリーズの発行や文化財案内標示板等の設置に加え、毎年「杉並区史跡散歩地図」を発行しています。高齢化社会の進展により、文化財散歩等を趣味にする区民が増加しています。また近年、国内での世界遺産登録などにより、文化財に対する興味・関心は高まっており、文化財部門に対する要望も多様化・複雑化しています。平成24年に購入した荻外荘が、日本政治史上重要な場所として平成28年3月国の史跡に指定され、復原に向けた取組を進めるため、広く区民等に周知しています。荻外荘の国史跡指定も契機となり、文化財ボランティアについても、展示解説等、活動範囲の幅が広がっています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、この事業への期待も高まっています。「杉並区史跡散歩地図」は好評で、毎日のように頒布を求める区民が来庁します。区民の要望が多様化・複雑化する一方、これらの人々が特定の年齢層に固定化している状況であるため、他の年齢層の意見や要望の掘り起こしが必要です。区内の文化財について、所有者の高齢化等で維持管理が難しくなっている箇所が生じており、区からの支援が求められています。係の専門職員が全員非常勤職員であるため、文化財保護審議会委員等から常勤職員配置の要望が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>埋蔵文化財の整理・保存が重要な課題です。区の施設再編計画に基づき、永福体育館隣接の収蔵庫に代わる埋蔵文化財の保管場所の確保が昨年度からの継続した緊急課題となっています。国の史跡に指定された荻外荘の保存・活用・復原等の整備計画を進めます。この計画推進のために、荻外荘や近衛文麿関係資料の調査を継続して行い、荻外荘残存資料は28・29年度で文化財指定を行う予定です。広く区民等に周知する取り組みも継続していきます。</p>			
評価と課題	<p>文化財保護法により文化財を適切に保存するために、保管が義務づけられている埋蔵文化財の保管場所の確保が必要な課題となっています。指定登録文化財候補について、新たな調査や聞き取りなどにより、区内に潜在している文化財の把握が必要です。国の史跡に指定された荻外荘を活用・保存・整備していくために、都市整備部門と連携を強化し、復原に向けた取組を推進していきます。荻外荘の整備に係るふるさと納税制度の活用も検討が始まっています。文化財ボランティアについては、活動の幅が広がるよう、引き続き、支援していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>文化財保護法・杉並区文化財保護条例及び関連分野の法規範との整合性を図りつつ、区民の求める文化財行政を効果的に進めていく必要があります。指定登録文化財候補について、区内に潜在している文化財の把握を進めていきます。荻外荘の保存活用、整備について、都市整備部門と連携を強化し、文化財部門として、文化庁への働きかけや復原するための情報収集、広く区民等への効果的な周知等の役割を果たしていきます。文化財保護ボランティアについては、継続的に活動を進めていけるよう、研修会の実施や活動機会の提供を行っていきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00523)

事務事業名称		社会参加支援			款	07	項	05	目	01	事業	007	整理番号	538	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	537	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和44年度													
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課											事業評価区分	一般	
	対象	義務教育終了後の知的障害者 区内在住、在勤、在学の外国人			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条							
						(2)		杉並区済美日曜教室実施要綱、にほんご教室分担金支給要綱、							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害を持った方や日本語の習得が必要な外国人等が、自立して社会参加できるようにする。			活動指標	指標名(1)		済美日曜教室延べ参加者数							
					指標説明		にほんご教室延べ参加者数								
				指標名(2)	指標説明		にほんご教室延べ参加者数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	済美日曜教室 教養講座や近郊へ出かける社会見学等の体験学習を実施 にほんご教室 レベル別に5クラス設定し、区内団体との共催で、年3期実施			成果指標	指標名(1)		済美日曜教室参加率								
					指標説明		済美日曜教室延べ参加者数÷済美日曜教室延べ登録者数								
				指標名(2)	指標説明		にほんご教室1回当たりの出席者数								
				指標説明	指標説明		にほんご教室延べ参加者数÷実施回数								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	人	859	900	950	900	932	900	103.6					
	活動指標(2)	2	人	1,550	0	1,862	1,800	1,737	1,800	96.5					
	成果指標(1)	3	%	57.3	70	79.0	70	64.9	70	92.7					
	成果指標(2)	4	人	25	0	30	30	28	30	93.3					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	7,874	7,680	6,385	6,572	4,870	6,895	平成28年度 予算執行率(%)	74.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	2,046	1,578	1,436	525	522	525	・済美日曜教室の参加者数やボランティア数が減ったことによる使用料や謝礼金等の減及びにほんご教室の概算払い清算金の返戻により、予算執行率は90%を下回った。					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.80	1.60	1.70	1.30	1.37	1.30	・平成27年度でしゃべり場事業が終了したため、平成28年度から活動指標(2)を「にほんご教室延参加者数」、成果指標(2)を「にほんご教室1回あたりの出席者数」に変更。26年度以降、すべて「にほんご教室」の実績値。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	1.10	1.00	1.20	1.20	1.30	1.20					
	人件費	常勤職員分	11	千円	15,858	14,096	14,870	11,371	11,730	11,131					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	3,113	2,830	3,522	3,522	3,862	3,565					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	26,845	24,606	24,777	21,465	20,462	21,591						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	31,251	27,340	26,081	23,850	21,955	23,990						
	財源	受益者負担分	16	千円	403	377	246	242	254	335					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	403	377	246	242	254	335						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	26,442	24,229	24,531	21,223	20,208	21,256						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.5	1.5	1.0	1.1	1.2	1.6							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	538
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		済美日曜教室(教養講座13回、体験学習3回)の開催	16	回	4,077
		にほんご教室の開催	63	回	793
		その他( )			
(2) 事業実績	<p>済美日曜教室の登録者数は91名でした。事業運営のボランティア数は平均21名でした。活動としては、教養講座のほか、日頃の部活動の成果を発表する「済美文化の日」の開催、宿泊・遠足及び社会見学などを実施しました。にほんご教室には、1年間で111名の外国人が参加しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>済美日曜教室は青年学級振興法のもと、済美青年学級として昭和44年に開始しました。平成12年、根拠法令廃止により、名称を変更して知的障害者の学習・余暇事業として継続しています。年々障害の程度が重い方や重複障害の方が増加しています。にほんご教室は外国人が日本語を基礎から学ぶ学習の場として平成3年度に開始しました。国際化が進む中、日本語を習得しながら、参加者同士で悩みを相談し合うなど、交流の場としての役割も担っています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>済美日曜教室の参加者の多くは休日も家族と過ごす割合が高く、日曜日に家族外の人と交流ができる事業は大きな期待が寄せられています。にほんご教室は、夜間に開催しているため、「仕事帰りに参加できる」「子どもを預けて勉強できる」という多くの参加者からの声があります。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成28年4月1日「障害者差別解消法」が施行されるなど、障害者の社会参加活動に向けた環境整備が進む中、必要な支援策のひとつとして学習支援活動が求められています。区内における外国人住民の人口は、平成26年度10,755人、平成27年度11,680人、平成28年度13,159人、平成29年度、14,188人(いずれも4月1日現在)と増加しており、今後もこの傾向が続くと見込まれ、引続き外国人の日本語学習の支援が重要と考えられます。</p>			
評価と課題	<p>社会参加支援事業は、様々な方の学習活動を支援しており、多くの区民の参加がありました。対象者の特徴から、事業の実施には専門的知識やノウハウ、人手の確保が重要です。そのため、専門性のある団体や区民ボランティアとの協働を図り、事業内容の充実に努めました。安全面に留意しながら事業を充実させていくためには、今後も担い手となる団体・区民等のスキルアップや関係部署等との連携を図っていくことが重要です。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>済美日曜教室は、希望する多くの参加者の安全を確保しながら、地域参加や学習が深まるように、現状の事業規模を維持しながら運営や内容について精査し、取り組んでいきます。そのためには、ボランティアの確保・拡充や研修を推進し、運営者間の情報共有に取り組むとともに、地域団体や区内大学等との連携を進めていきます。にほんご教室は、増加する外国人住民の支援を行うために、教室運営団体との協働により事業内容を精査しながら、区内外国人に多くの情報周知を行い、ニーズに合った学習機会を現状維持の予算規模で提供していきます。</p>				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00524)

事務事業名称		社会教育センター運営			款	07	項	05	目	01	事業	008	整理番号	539	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	538	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課											事業評価区分	一般	
	対象	一般区民、自主活動団体、企業			根拠法令等	(1)		杉並区立社会教育センター条例							
					根拠法令等	(2)									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育の実践の場である社会教育センター施設として、広く区民等の利用拡大に努める。区民や団体が、身近な地域で、生涯を通じて社会とのつながりを持ち続け、自発的な学習活動の実践につながるように、その活動を支援する。			活動指標	指標名(1)		施設利用回数							
				指標説明	指標名(2)		社会教育に関する会議の人数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の予約について、インターネット、窓口に設置されているタッチパネル式パソコン、携帯電話のインターネットによる方法で受け付ける。社会教育に関心のある区民の参画を得て事業を推進する方策について、協議・実践・調査・研究等を行う。地域における区民の自発的な各種学習活動を支援する。			成果指標	指標名(1)		稼働率								
				指標説明	指標名(2)		施設利用回数÷施設利用可能回数								
				指標説明	指標名(2)		社会教育に関する会議への出席率								
				指標説明	指標名(2)		出席者の延べ人数÷(社会教育に関する会議の人数×会議開催数)								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回	4,951	10,914	5,323	9,951	5,896	10,914	59.3					
	活動指標(2)	2	人	8	8	8	8	42	20	525.0					
	成果指標(1)	3	%	57	100	49	100	59	100	59.0					
	成果指標(2)	4	%	63	80	100	80	50	80	62.5					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,812	7,860	6,468	7,820	6,658	7,110	平成28年度予算執行率(%)	85.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	604	594	534	643	554	635	・賃借料落札差金による残及び一般需用費の残により、予算執行率は、90%を下回った。					
	職員数	常勤職員数	8	人	2.22	1.50	1.80	1.50	1.30	1.10	・活動指標(2)は、対象を社会教育センター団体交流室登録団体にしたことにより、対計画比が増となった。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.80	0.50	0.30	0.40	0.50	0.60					
	人件費	常勤職員分	11	千円	19,558	13,215	15,745	13,121	11,131	9,418					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	2,264	1,415	881	1,174	1,486	1,783					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	27,634	22,490	23,094	22,115	19,275	18,311						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,581	2,061	4,339	2,222	3,269	1,678						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	27,634	22,490	23,094	22,115	19,275	18,311						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号	539	
平成28年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	社会教育センター運営経費（舞台用品の購入、ピアノの保守点検等）		
	社会教育に関する会議運営事務費			5
	その他（ ）			
(2) 事業実績	社会教育に関する会議運営では、平成27年度に取り組んだ科学教育関係団体のネットワークづくりを社会教育センター団体交流室登録団体間のネットワークづくりに広げるため、社会教育センター団体交流室登録更新手続き説明会を初開催し、幅広い活動の情報交換や意見交換を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	施設利用状況 平成元年度3,663回 平成10年度5,887回 平成20年度5,269回 平成元年度～ 社会教育センター審議会 平成14年度～ 社会教育事業推進委員会（愛称：車座委員会） 平成27年度～ 社会教育事業推進組織		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	第14期社会教育委員の会議では、今後の展望として、科学教育に限らず「出前型・ネットワーク型」の事業展開により、幅広い区民の生涯学習・社会教育の充実と地域づくりが期待されており、関係機関や様々な団体等との連携や協働を通じて、ネットワークの充実をさらに図っていくことが求められています。		
	今後（3～5年）の予測と方向性	施設の老朽化に伴う改修が必要となってきます。また、本格的な少子高齢社会を迎え、誰もが安心して暮らすことができる地域社会を形成していくとともに、ライフステージに即した学びあいや学び直しができる生涯学習社会への要望が高まると予測されます。		
評価と課題	社会教育事業推進組織では、団体交流室登録団体の登録更新手続き説明会を初めて開催し、情報交換や団体間の交流を深めることができました。また、この機会を利用して、科学以外の社会教育関係団体に科学教育事業を紹介することができました。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持	
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し	
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	身近な地域で、区民一人ひとりがそれぞれの役割を見出し、地域や社会の課題や問題の解決にあたるのが重要です。そのためには、地域の実情を踏まえながら、より広く区民の参画を促す工夫が必要です。NPOやボランティア等地域で活躍する個人や団体とのネットワークを活かし、幅広い議論と実践を通して、社会教育に携わる組織・団体を支援し、区全体の社会教育事業の推進を図っていきます。		

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00525)

事務事業名称		社会教育団体協働事業			款	07	項	05	目	01	事業	009	整理番号	540	
現担当課名		生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	539		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和26年度													
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	一般			
	対象	区内在住・在勤・在学者 各種社会教育団体			根拠法令等	(1)	社会教育法第3、5条			(2)	大学公開講座実施要綱、杉並区文化団体連合会補助金交付要綱等				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民や関係団体と事業を共催することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動の参加の機会を提供するとともに、関係団体の活動を活性化する。			活動指標	指標名(1)	講座回数(大学公開講座、ユネスコ活動)			指標説明					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区文化団体連合会と共催で総合文化祭を実施する。 区内6大学と共催し公開講座を実施する。 杉並ユネスコ協会と共催等により、国際理解を深め平和の推進を図る事業を実施する。 社会教育活動団体と共催で事業を実施する。 社会教育活性化支援プログラムを実施する。			成果指標	指標名(1)	総合文化祭の延べ来場者数			指標説明					
					指標名(2)	受講者数			指標説明	大学公開講座、ユネスコ活動					
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回	67	70	60	65	68	65	104.6					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	人	14,354	16,000	14,128	16,000	14,019	16,000	87.6					
	成果指標(2)	4	人	2,290	2,500	2,186	2,250	2,557	2,300	113.6					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	7,001	7,170	6,583	7,543	6,493	7,717	平成28年度予算執行率(%)	86.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 大学公開講座の一部講座中止及び社会教育活性化支援プログラム講師謝礼金、託児委託金の残等により、予算執行率は90%を下回った。					
	(内)委託費	7	千円	389	10	10	139	7	126						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.76	1.50	1.60	1.50	1.50						1.10
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
		非常勤職員数	10	人	0.50	0.50	0.60	0.60	0.90						1.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	15,506	13,215	13,995	13,121	12,843						9,418
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0						0
		非常勤職員分	13	千円	1,415	1,415	1,761	1,761	2,674						2,971
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	23,922	21,800	22,339	22,425	22,010	20,106						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	357,045	311,429	372,317	345,000	323,676	309,323						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0						0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0						0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	23,922	21,800	22,339	22,425	22,010	20,106						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	540	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		大学公開講座共催分担金の支出		6	団体	1,216
		杉並区総合文化祭分担金の支出				4,000
		文化団体連合会補助金の支出		1	団体	350
		ユネスコ活動分担金の支出		1	団体	778
		その他（社会教育活性化支援プログラムの実施）				149
(2) 事業実績	<p>関係団体の自主性を尊重しながら、活動を活性化させるとともに、区民の生涯学習や文化・芸術活動事業への参加。また、平和・国際理解推進活動など、年度を通して各団体と区民が参加できる共催事業を実施しました。</p> <p>社会教育活性化支援プログラムでは「すぎなみライフスタイル研究会」を開催し、地域づくりに関する区民の主体的な調査研究活動を行うことから、食品ロス対策を図る一般区民向けのイベントや、高齢者への聞き取りから持続可能な社会形成を考える講演会の実施につなげました。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並区総合文化祭は、昭和26当初4団体で第1回目として開催しましたが、その後、参加団体が増え、平成28年は29団体で実施しました。</p> <p>区内大学公開講座実施対象校数：昭和60年 4大学 平成5年度 5大学 平成13年度から区内の全大学（6大学）で実施しています。</p> <p>杉並ユネスコ協会は、1951年9月に設立し、2016年9月で65周年を迎えました。</p> <p>社会教育活性化支援プログラムは、平成25～26年度、文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の採択をきっかけに平成27年度から開始しました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>総合文化祭の「区民文化の日」は、区民の発表の場として定着し、参加者に喜ばれています。</p> <p>大学公開講座は、各大学とも特色ある講座を実施し、好評で安定した受講者がいます。</p> <p>ユネスコ事業では、初めて行われた「ユネスコのつどい」では参加者が285名、第3回目となる「親子科学教室」は80名と多くの集客がありました。また、「中学生クラブ」も年間を通して活発に活動しており好評を得ており、参加者からは満足度の高い事業との声が多く寄せられました。</p> <p>社会教育活性化支援プログラムでは、参加者から自分も地域に関わることができるといった実感が沸いた、地域への興味が高まった、自分の行動や活動につなげていきたい、食品ロス対策や過去に学ぶことの重要性を理解することができたという感想をいただきました。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>文化・芸術、スポーツ、教養・学習など多種多様な社会教育活動を担う団体への期待は大きく、参加している方々は、子どもから若年層、お年寄りまで幅広く、全ての世代で今後も活動意識が高まっていくものと予想されます。</p> <p>一方では、文化団体連合会会員の世代交代が順調に進んでいないことや、次世代への文化・芸術の継承を適切に行っていくことが必要と考えています。</p>				
評価と課題	<p>各団体の特色を活かした事業の実施は、参加者から好評を得ています。しかしながら、活動経験の長い団体の運営は安定感がありますが、一方で新鮮性に乏しい面があることは、否めない状況になっています。</p> <p>また、文化団体連合会への補助金については、今後も前年度の収支決算及び事業実施状況を総合的に考慮の上、翌年度の予算編成の中で適正性を確保していきます。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>既存の各団体に区民の要望やニーズに答えられるように、地域で活動する他の団体、活動場所など様々な情報を提供しながら、新たな事業の実施を促し、団体の活動を活発にしていきます。</p>				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00526)

事務事業名称 成人学習支援			款 07	項 05	目 01	事業 010	整理番号 541			
現担当課名 生涯学習推進課		係名 社会教育センター			連絡先電話番号 4712	昨年度整理番号 540				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成元年度								
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課				事業評価区分	一般			
	対象	一般区民	根拠法令等	(1)	社会教育法第3、5条					
				(2)	杉並区立社会教育センター条例					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	多様な区民が身近な地域で学び合い、その成果を生かすことができるよう多様な学びの場や機会を創出する。また、区民が地域づくりの担い手として、主体的に参加・参画する場を提供する。		活動指標	指標名(1)	すぎなみ大人塾(2コース等)延べ参加者数				
			指標説明	指標名(2)	区民企画講座コース数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	地域社会の担い手を育む学習の場として、現代的課題の解決や、コーディネート力を培う高度な講座を開催する。地域とのかかわりが薄い若者や、地域住民等を対象に、地域の課題を自ら考える機会となる講座運営を行う。		成果指標	指標名(1)	大人塾の年間講座出席率					
			指標説明	指標名(2)	大人塾年間出席者実数÷年間大人塾参加者延べ数					
			指標説明	指標名(2)	地域との協働による区民企画講座の実施率					
			指標説明	指標名(2)	地域との協働による講座実施数÷実施講座全数					
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	1,221	1,200	1,621	1,200	1,226	1,200	102.2	
	活動指標(2)	2 コース	1	1	1	3	3	3	100.0	
	成果指標(1)	3 %	64	65	63	65	50	65	76.9	
	成果指標(2)	4 %	100	60	100	60	100	60	166.7	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,139	3,652	2,999	4,044	2,667	4,055	平成28年度 予算執行率(%) 65.9	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 実績に基づく講師等謝礼金、託児委託金の残等により、予算執行率が90%を下回った。	
	(内)委託費	7 千円	395	295	294	580	301	543		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.22	2.10	2.00	2.00	2.00		1.80
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	1.60	1.40	1.50	1.70	1.90		1.80
	人件費	常勤職員分	11 千円	19,558	18,501	17,494	17,494	17,124		15,412
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	4,528	3,962	4,403	4,990	5,645		5,348
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	27,225	26,115	24,896	26,528	25,436	24,815		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	22,297	21,763	15,358	22,107	20,747	20,679		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	27,225	26,115	24,896	26,528	25,436	24,815		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	541
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみ大人塾の開催	2	講座	2,356
		区民企画講座の開催	3	講座	211
		社会教育セミナーの開催	1	講座	100
		その他( )			
(2) 事業実績	<p>すぎなみ大人塾では、本講座、プレミアム講座(8コース・10回)、協働推進課との共同事業(3回)を実施して、合計1,226名の参加がありました。区民企画講座では、区内の高校生、高等学校、20~30代の若者グループと協働でイベント等を実施する講座を開催し、3コース合わせて282名の参加がありました。社会教育セミナーでは、障害者差別解消法の施行をきっかけに、障がい者や日本語を母国語としない方の読書について考える「やさしく読みやすい本・LLブックの世界」を開催し、7名の参加がありました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区民意向調査における調査結果 「ボランティア活動経験」がある 平成18年度22.0% 平成22年度22.6% 平成27年度24.7% 取り組んでいる社会活動参加状況のうち社会貢献・社会参加活動の割合 平成18年度4.3% 平成22年度5.2% 平成27年度4.8%</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>参加者からは「地域に一步踏み出すきっかけとなった」、「自分たちで考え行動していくことを学んだ」、「地域に貢献する活動をしたくなった」という感想が寄せられ、地域づくりの担い手となる層の発掘・育成につながっています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>文科省は、平成29年3月『人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築に向けて』論点整理を出しました。今後の社会教育に期待される3つの役割として、地域コミュニティの維持・活性化への貢献、社会的包摂への寄与、社会の変化に対応した学習機会の提供が掲げられ、ますます学びの成果を地域づくりの実践につなげる「地域課題解決学習」が重要になります。また、第14期杉並区社会教育委員の会議のまとめでは、区民を主体として身近な地域施設等を有効活用する「出前型・ネットワーク型」による社会教育事業の活性化が期待されています。さらに、大人塾事業と地域大学事業においては、今後講座の目的や方法において、事業の精査を行っていきます。</p>			
評価と課題	<p>すぎなみ大人塾は、「プレミアム講座」や「はじめの一步まつり」の開催により、修了生が学習機会を計画・立案する側にまわる機会を提供してきました。今後も、区民の方々が気軽に参加できるコース運営を工夫し、地域に主体的にかかわるようになる方々のすそ野を広げていく必要があります。区民企画講座では、将来的な地域の担い手育成を目的に、若者や区内高等学校と協働で事業を行うことができました。今後は、切れ目のない生涯学習活動のため、より多くの若者、とりわけ高校生の参加を促していくことが課題です。社会教育セミナーは、定員に対して応募が下回ったため、参加しやすい日時の設定や周知方法について検討が必要です。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>大人塾は、第14期杉並区社会教育委員の会議のまとめを踏まえて、新しい地域づくりを目指した内容で実施していきます。またその運営にあたっては、修了生が準備課程から関わり、日々取り組んでいる活動などを発信する体制を整えていきます。区民企画講座は、若者に向けた社会教育事業として、引き続き地域との協働で実施していきます。社会教育セミナーは、現代的課題をテーマにした講座を関係機関等と連携し実施していきます。</p>				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00527）

事務事業名称 郷土博物館の運営管理			款 07	項 05	目 01	事業 011	整理番号 542				
現担当課名 生涯学習推進課		係名 郷土博物館		連絡先電話番号 3317-0841		昨年度整理番号 541					
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成元年度		主要事業（区政経営報告書掲載事業）							
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課		事業評価区分 一般							
	対象	一般区民、自主活動団体等		根拠法令等 (1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、展示等の事業を通じて、広く杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解と関心ならびに愛着心の向上を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	企画展・講座・教室等事業実施回数  収蔵資料総数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事の実施 学校教育等への支援・連携 研究紀要等の発行		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	観覧者数 本館及び分館の観覧者数の合計 アンケート結果 満足を3、普通を2、不満を1とした平均点						
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成27年度 実績	平成28年度 計画 (目標値)	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	回	57	50	66	50	67	50	134.0	
	活動指標(2)	2	点	140,751	141,751	140,979	141,979	142,493	143,493	100.4	
	成果指標(1)	3	人	26,571	28,000	29,547	33,000	35,601	36,000	107.9	
	成果指標(2)	4	点	2.7	3.0	2.7	3.0	2.7	3.0	90.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	12,436	20,349	18,379	15,061	12,867	11,986	平成28年度 予算執行率(%) 85.4	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 これまでは事業参加者数を成果指標としていましたが、郷土博物館の運営管理の成果を実態に即してより適切に評価するため、観覧者数を成果指標としました。	
	(内)委託費	7	千円	3,641	7,369	7,004	4,231	3,718	3,228		
	職員数	常勤職員数	8	人	4.46	3.00	3.15	3.00	3.15		3.00
		再任用職員数	9	人	2.03	2.00	1.76	2.00	2.01		2.00
		非常勤職員数	10	人	12.00	11.83	11.33	10.83	12.00		12.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	39,293	26,430	27,553	26,241	26,970		25,686
		再任用職員分	12	千円	8,222	8,100	7,285	8,278	8,824		8,780
		非常勤職員分	13	千円	33,960	33,479	33,254	31,786	35,652		35,652
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	93,911	88,358	86,471	81,366	84,313	82,104		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	1,647,561	1,767,160	1,310,167	1,627,320	1,258,403	1,642,080		
	財源	受益者負担分	16	千円	1,391	1,467	1,613	1,508	1,639		1,508
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	1,391	1,467	1,613	1,508	1,639	1,508		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	92,520	86,891	84,858	79,858	82,674	80,596		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	1.5	1.7	1.9	1.9	1.9	1.8			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	542	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		特別展・企画展・講座・教室等の開催	67	回	10,722	
		郷土博物館運営協議会の開催	3	回	271	
		博物館事業の運営管理経費				1,874
		その他（ ）				
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	平成28年3月に「荻外荘」が国の史跡に指定されたことを記念して、本館と分館合同で特別展「荻外荘」と近衛文麿を開催しました。そのほか、企画展や収蔵資料展など、本館と分館を合わせて、17件の展覧会を開催しました。そのうち3件は協働推進計画に基づく区民参加型展示です。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成元年5月に大宮一丁目に開館しました。平成19年4月には天沼三丁目に分館が開館しました。観覧者数は、ここ10年来、2万6千～2万9千人台で推移していました。本館については、平成24年度から減少傾向にありましたが、平成27年度からは、本館と分館とも観覧者数が増に転じました。これは、分館の区民参加展示や、平成28年度には国史跡指定記念特別展（『荻外荘』と近衛文麿）など、区民ニーズを的確に捉えた展示が実施され、観覧者数が大幅に増加したと考えます。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	展示・講座などの各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けています。子どもから大人まで、幅広い年齢層に対応した事業展開や、杉並区ならではの企画設定が求められています。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて日本への関心が高まり、郷土博物館でも外国人の来館者が増えてきました。平成29年度には英語版のパンフレットを制作しますが、今後の動向も見ながら、多言語対応を考えていく必要があります。				
評価と課題		区民の皆さんに、杉並の歴史と文化を知っていただき、郷土への愛着心を高めてもらうため、様々な博物館活動をしています。観覧者数は、平成27年3月の本館常設展示室のリニューアルや平成28年4月の国史跡指定記念特別展などにより大幅に増加しており、特別展、企画展、講座、講演などの参加者からは、高い評価を受けています。これからは、区民参加型展示等を行いながら区民の皆さんが、何を知りたいのか何を見たいのかを的確に把握するとともに、学会員の企画力を向上し収蔵資料を活かした展示等を工夫してまいります。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	収蔵資料は区民の財産であり、単に収蔵保管するだけではなく、それらを活かした展示や講演などの事業展開を図ります。また、10年を経た区民参加型展示については、事前の学習段階から博物館が支援するなど、これまでの蓄積を活かした新しい事業展開を図ります。さらに、現在行っている体験参加型の事業や学校対応事業をより充実させていきます。そのためには、積極的な広報、PRを行い周知することで多くの参加者を見込み、より区民に親しまれる博物館を目指します。				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00528)

事務事業名称		図書館運営				款	07	項	05	目	01	事業	012	整理番号	543		
現担当課名		中央図書館		係名		管理係		連絡先電話番号		4715		昨年度整理番号		542			
上位施策No・施策名											29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		昭和25年度		実行計画事業		目標 05		施策 29		計画事業 03		主要事業(区政経営報告書掲載事業)				
	平成28年度担当課名		中央図書館										事業評価区分 一般				
	対象		図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)				根拠法令等		(1)		図書館法		(2) 子どもの読書活動の推進に関する法律				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めるため、本と親しめる環境を整備するとともに図書館利用の促進を図ることにより、区民の生涯にわたる学習と自立を支援していく。				活動指標		指標名(1)		蔵書数		指標説明				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		区民の課題解決や生涯学習を支援するため、レファレンスサービスの充実やデータベースの活用などを図る。 図書館システムの運用、インターネットパソコンによる情報発信及び情報提供を行う。 図書資料の選定、収集、保存及び廃棄を行う。 図書館資料の利用案内を行う。 乳幼児から高齢者まで幅広い世代への読書機会の提供と読書環境の充実を図る。				指標名(2)		個人貸出冊数								
				成果指標		指標名(1)		蔵書1冊当たりの貸出回転数									
				指標説明		指標名(2)		個人貸出冊数÷蔵書数									
				指標説明		指標名(2)		区民1人当たりの年間貸出冊数(サービスコーナーを含む)									
				指標説明		指標名(2)		個人貸出冊数÷杉並区の人口									
区分		単位		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成28年度					
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1 冊		2,348,027		2,256,000		2,353,243		2,233,000		2,334,514		2,178,000 104.5		
	活動指標(2)		2 冊		4,680,499		4,900,000		4,770,772		4,900,000		4,716,735		4,900,000 96.3		
	成果指標(1)		3 回転		1.99		2.17		2.03		2.19		2.02		2.25 92.2		
	成果指標(2)		4 冊		8.51		8.91		8.58		8.81		8.39		8.72 95.2		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		931,800		961,768		949,334		958,017		943,003		1,047,074 平成28年度予算執行率(%) 98.4		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		特記事項		
	(内)委託費		7 千円		671,475		698,468		693,174		698,929		691,004		791,959 平成29年4月1日現在人口562,065人		
	職員数	常勤職員数		8 人		61.23		59.00		63.54		59.00		62.65		59.00 指定管理館6館債務負担行為(総額):1,880,229千円	
		再任用職員数		9 人		19.00		18.00		18.00		15.00		15.00		17.00 永福、方南図書館 設定期間:平成28年度~平成30年度	
		非常勤職員数		10 人		22.00		22.00		22.00		25.00		25.00		25.00 宮前、高井戸、成田、阿佐谷図書館 設定期間:平成28年度~平成32年度	
	人件費	常勤職員分		11 千円		539,436		519,790		555,784		516,073		536,409		505,158	
		再任用職員分		12 千円		76,950		72,900		74,502		62,085		65,850		74,630	
		非常勤職員分		13 千円		62,260		62,260		64,570		73,375		74,275		74,275	
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		1,610,446		1,616,718		1,644,190		1,609,550		1,619,537		1,701,137		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		686		717		699		721		694		781		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0 成果指標(1)の「区民1人当たりの蔵書数」は、陳腐化した蔵書の除籍を行い新鮮で魅力的な蔵書構成を目指す蔵書規模の適正化に取り組んでいるため、適切な指標ではなくなっている。このため、蔵書の利用率を示す「蔵書1冊当たりの貸出回転数」に成果指標を変更しました。	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0			
差引:一般財源(14-20)		21 千円		1,610,446		1,616,718		1,644,190		1,609,550		1,619,537		1,701,137			
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	543
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	管理運営（指定管理者）	6	館	425,063
		図書館サービス業務委託	4	館	185,849
		図書館資料購入・装備	13	館	177,348
		図書館システム管理（図書サービスコーナー等含む）	17	施設	61,228
		その他（情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか）			93,515
(2) 事業実績	<p>あかちゃんタイムなど多彩な取組を行い乳幼児期の読書活動を支援したほか、中・高校生が本の紹介等を行う中・高校生協働企画の実施など、改定した「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づく事業を着実に実施しました。また、魅力的な蔵書構成を目指して蔵書規模の適正化を進めるとともに、平成28年3月に策定した「電子情報サービスの対応方針」に基づき、デジタル録音図書(DAISY)や有料データベースの充実、デジタルアーカイブ対象資料の抽出等を進めました。中央図書館の改修については区民意見交換会等を実施し延べ1,400人超の区民の意見・要望を聴取しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和25年に区立図書館を設置、その後、14館構想（1地域2館構想）に基づく図書館整備を進め、平成19年には13館目を設置することにより、中央図書館を核とした13館で図書館運営を行っています。平成17年度から民間の創意工夫を活かした運営手法（業務委託・指定管理者制度）を段階的に採り入れ、現在は、13館中10館が民間事業者による運営（一部業務委託）となっています。また、昭和59年に図書館コンピュータシステムを導入、平成13年度には図書館ホームページを開発し、さらに平成24年度に図書館システムを更新するなど、区民が利用しやすい図書館資料の検索・予約・貸出の仕組みづくりを進めています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>中央図書館を含む老朽化した図書館の改築・改修や、中高生の専用スペースに対する要望、電子情報サービスの充実を望む声など、区民等から図書館のハード、ソフト両面に関する多様な意見・要望などが寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>老朽化した中央図書館の改修や永福図書館の移転改築が実施され、それ以外の地域図書館についても引き続き改修・改築計画が進む中、有料データベースやDAISY資料等の図書館の電子情報サービスの拡充や中高生サービス充実への意見や要望が寄せられることが見込まれます。中・高校生協働企画については、全館で行われ読書に対する興味・関心が高まり、乳幼児向けサービスについても、乳幼児期の読書活動の支援が拡充しています。今後は、地域の知的活動意欲の高まりなどにより、他の生涯学習・社会教育施設・小・中学校との連携・協働等による、図書館サービス基本方針にある「学びの場」、「知の共同体」、「楽しい交流空間」の実現が求められます。</p>			
評価と課題	<p>各種の取組により図書館サービスの充実に努めましたが、当該年度中に西荻図書館が約2か月間閉館したこと等から、指標である「蔵書1冊当たりの貸出回転数」「区民1人当たりの年間貸出冊数」は目標には届きませんでした。今後とも、「子ども読書活動推進計画」に基づく取組のほか、デジタル録音図書や有料データベースの充実など、区民にとって魅力ある図書館サービスを推進し、指標の目標達成を図っていきます。また、平成29年度に中央図書館改修基本計画を策定し、図書館サービス基本方針に示す「10年後の図書館像」の具体化につなげていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成25年3月に策定した『杉並区立図書館サービス基本方針』に基づき、図書館運営状況等に係る評価を運用しながら、時代のニーズを的確に反映し図書館サービスの向上を図っていきます。また、平成28年度に策定した「図書館の電子情報サービスへの対応方針」を踏まえ、実施計画に基づいたデジタル録音図書(DAISY)の充実やデジタルアーカイブ化の推進を行うとともに、急速な進展を見せる、その他の情報通信技術の導入について検討していきます。これらの既定事業については、平成29年度に行うシステム更新に関する経費が翌年度以降に発生しないことで一定程度の削減が見込まれます。一方、実行計画にも取組が明示されている新たな課題である中央図書館の改修と永福図書館の移転改築については、平成31年度以降の工事实施に向けた設計費を計上する必要があり翌年度以降の予算は拡充します。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00697)

事務事業名称 次世代型科学教育の推進			款 07	項 05	目 01	事業 014	整理番号 544				
現担当課名 生涯学習推進課		係名 社会教育センター		連絡先電話番号 4712		昨年度整理番号 543					
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業					
事業開始 平成27年度		実行計画事業 目標 05 施策 29 計画事業 05			主要事業(区政経営報告書掲載事業)						
平成28年度担当課名 生涯学習推進課					事業評価区分 一般						
対象 区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体		根拠法令等 (1) 理科教育振興法第1条 (2) 教育基本法第12条									
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標		移動式プラネタリウムの開催日数						
	広く子どもから大人まで科学に親しみ、科学に関する多様な体験や触れ合う機会を地域に出向いて提供する。交流自治体や区民、NPO、民間事業者等との協働により、相互のつながりやかかわり合いを促進する。ICTやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。		指標名(1)								
			指標説明		サイエンスフェスタの出展団体数						
			指標名(2)								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標説明									
新たな天文学習 移動式プラネタリウムの上映、北海道名寄市(交流自治体)との協働による天文台車での観望会の実施 科学博覧会 最新の科学にふれる展示や、団体・企業・学校等の協働による「サイエンスフェスタ」を開催 サイエンスコミュニケーション 科学に関する講座・講演会、子ども向け講座の実施 次世代型科学教育の新たな拠点づくり 科学教育団体との意見交換と総合計画改定への反映		成果指標		移動式プラネタリウムの参加者数							
		指標名(1)									
		指標説明		サイエンスフェスタ参加者数							
		指標名(2)									
		指標説明									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	平成28年度 予算執行率(%) 83.0 特記事項 科学講座等の講師謝礼金や委託費を廉価に抑えたことにより、予算執行率は90%を下回った。	
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 日		20	19	20	24	20	120.0		
	活動指標(2)	2 団体		20	24	27	26	26	96.3		
	成果指標(1)	3 人		2,800	2,781	2,800	3,565	3,200	127.3		
	成果指標(2)	4 人		2,000	2,018	2,000	2,286	2,300	114.3		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円		18,575	17,535	14,453	12,002	16,177			
	(内)投資的経費等	6 千円		0	0	0	0	0			
	(内)委託費	7 千円		11,569	11,567	7,849	6,731	8,212			
	職員数	常勤職員数	8 人		1.70	2.10	1.90	2.10	1.90		
		再任用職員数	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人		1.60	1.70	2.10	2.40	2.40		
	人件費	常勤職員分	11 千円		14,977	18,369	16,619	17,980	16,268		
		再任用職員分	12 千円		0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円		4,528	4,990	6,164	7,130	7,130		
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円		38,080	40,894	37,236	37,112	39,575			
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円		1,904,000	2,152,316	1,861,800	1,546,333	1,978,750			
	財源	受益者負担分	16 千円		100	30	100	85	100		
		国からの補助金等	17 千円		0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円		0	871	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円		0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		100	901	100	85	100			
差引:一般財源(14-20)		21 千円		37,980	39,993	37,136	37,027	39,475			
受益者負担比率(16÷14)	22 %			0.3	0.1	0.3	0.2	0.3			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	544
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		新たな天文学習事業の実施	6,516	人	3,364
		科学博覧会の実施	4,942	人	4,800
		サイエンス・コミュニケーション事業の実施	970	人	3,838
	その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>科学教育関連企業・団体等と連携し、最先端の科学を身近な場所で提供する出前型・ネットワーク型の科学教育事業の充実を図りました。天文学習事業については、移動式プラネタリウム上映会や北海道名寄市との協働による移動式天文台車観望会を実施しています。科学博覧会事業では、科学技術館の巡回展示の区内実施や「第2回サイエンスフェスタ」を行うとともに、小中学生の連続講座「フューチャーサイエンスクラブ」など、様々なワークショップを実施しました。このほか、科学教育関連企業・団体等と意見交換しつつ、次世代型科学教育の新たな拠点づくりの検討を進めています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成27年度末で杉並区立科学館が閉館しました。科学館が担ってきた科学教育事業のうち、生涯学習分野については社会教育センターに移管されました。移管に伴い、事業の実施にあたっては、地域施設に出向き、区民、NPO、民間事業者等との協働を重視することとしています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>28年度実施した、子どもから大人まで各種事業の参加者からのアンケートによると、「楽しかった・面白かった」「また参加したい」といった多くの感想が寄せられています。また、サイエンスフェスタの出展者からは、実行委員会等を重ねることで、団体同士の交流が深まり、互いに切磋琢磨する機会として好意的に受け止められ、来年度の開催に向けた提案も出されています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>世代を超えて多くの区民が身近な場所で科学に親しみ、生涯学び続けるためには、科学教育関係団体等と協働し連携を図りながら、常に最先端の科学技術や情報を取り入れていく仕組みや、科学に興味・関心のある区民が交流する機会等を整備していくことが重要になります。次世代型科学教育の新たな拠点づくりは、施設再編整備計画の杉並第四小学校跡地活用検討のなかで、生涯学習事業の拠点機能や、新たな「出前型・ネットワーク型」科学教育事業の支援機能の充実に向けて、広く区民の意見を聞きながら方針を決定していきます。</p>			
	評価と課題	<p>移動式プラネタリウムは、従来の区内イベントなどに加え、新たに児童館での上映会を活発に実施したことにより、大幅に参加者数が増加しました。また、第2回「サイエンスフェスタ」は、協働で実施した科学教育関連企業・団体等が2団体、参加者も200人以上増えています。今後は、これらの事業で培った様々な団体等とのネットワークを活かして、身近な地域施設で科学教育事業に参加できる機会をより充実していきます。また、現在行っている科学教育事業の成果等を生かしながら、統合後の杉並第四小学校跡地を活用した新たな拠点づくりについて、平成30年度の方針決定に向けた検討を着実に進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>科学教育における学びの循環を進めるため、「すぎなみサイエンスフェスタ」を中心に各種団体、企業、学校等とのネットワークを構築し、さらに連携・協働を広げることで、身近な地域施設で科学技術を楽しむことができる事業展開を図っていきます。また、学校教育部門との連携・協働による事業の充実を図っていきます。事業を通じて得られた成果については、「施設再編整備計画・第一次実施プラン」に基づき、平成30年度の杉四小跡地活用策の方針決定に向け、新たな拠点に求められる機能や必要な諸室についての具体化に生かし、今後の次世代型科学教育の拠点づくりにつなげていきます。</p>				



# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	545
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所	47,317
		光熱水費	1	所	12,251
		施設維持経費（修繕費、消耗品の購入、使用料等）	1	所	8,270
	その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>ホールの居住性・安全性向上のため、例年通りホール椅子の貼替修繕を計画的に実施した他、消防設備点検における指摘事項の対応や、雑用水の量水器の交換、正面入り口の自動ドアセンサー交換などを行いました。日々経年劣化が進む施設の安全面に配慮しながら、利用者が支障なく使用できるよう可能な限り修繕を施し、適切な維持管理に努めています。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	<p>これまでと同様に、舞台関係（照明・音響等）の危険箇所や、エレベーターの老朽化及び戸開走行保護装置設置など対応ができておらず、安全面からも問題があります。施設全体の老朽化がさらに進み、建物点検や消防点検の指摘事項などは、改修しても翌年には新たな指摘箇所が発生してしまうことが続いています。特にホールの舞台関係は、音響設備・照明設備を中心に開館時に導入したシステムが残っており、故障が多ばかりでなくデジタル化などの施設更新が遅れています。舞台公演中に、老朽化に起因する事故の発生が起きないように、早急な対応が必要です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00530 ）

事務事業名称		郷土博物館の維持管理			款	07	項	05	目	02	事業	002	整理番号	546	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	545
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成28年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	施設維持管理			
	対象	博物館利用者			根拠法令等	( 1 )		博物館法							
						( 2 )		杉並区立郷土博物館条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	歴史・文化資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			活動指標	指標名（ 1 ）		開館日数							
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	本館、分館、西田小学校郷土資料展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫4か所の維持管理			成果指標	指標名（ 1 ）										
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（ 1 ）	1 日	273	296	296	294	294	294	100.0						
	活動指標（ 2 ）	2													
	成果指標（ 1 ）	3													
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	48,632	35,964	34,728	45,161	40,130	35,181	平成28年度 予算執行率(%)	88.9					
	（内）投資的経費等	6 千円	15,966	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7 千円	33,042	23,098	22,633	30,338	27,330	23,587							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.02	1.00	1.01	1.00	1.01	1.00						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	8,986	8,810	8,834	8,747	8,648	8,562						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	57,618	44,774	43,562	53,908	48,778	43,743							
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	152,571	151,264	147,169	183,361	165,912	148,786							
	財源	受益者負担分	16 千円	33	40	31	40	24	40						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	33	40	31	40	24	40							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	57,585	44,734	43,531	53,868	48,754	43,703							
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	546	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託		2	館	22,534
		光熱水費		2	館	7,432
		施設維持管理		2	館	8,314
		その他（ ）				1,850
(2) 事業実績	旧井口家長屋門について、従来の薬剤による方法に替えて、燻煙による害虫駆除を行いました。住宅街に設けられた施設であり、近隣家屋とも近く、周辺への影響に考慮した管理方法を工夫してまいります。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
	評価と課題	開館28年となる本館は、構造や設備の老朽化が進んでいます。職員の手による不良個所の発見や補修は起こっていますが、いずれ大規模な修繕が必要となります。また、増加する収蔵資料を学校施設に保管していましたが、移転を求められており、平成28年度には1校を空け渡すなど、資料の保存や活用が難しくなっています。より充実した展示を行うためにも、展示施設や収蔵施設の改修検討を図る必要があります。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
	今後の進め方					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00531)

事務事業名称		図書館施設維持管理			款	07	項	05	目	02	事業	003	整理番号	547	
現担当課名		中央図書館		係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	546			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和27年度													
	平成28年度担当課名	中央図書館			事業評価区分	施設維持管理									
	対象	図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)			根拠法令等	(1)		図書館法							
						(2)		杉並区立図書館条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。			活動指標	指標名(1)		開館日数(全館累計)							
					指標説明										
					指標名(2)		利用者数(全館累計)								
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。			成果指標	指標名(1)										
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分	単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画				対計画比(%)				
指標	活動指標(1)	1	日	4,318	4,336	4,331	4,324	4,312	4,248	99.7					
	活動指標(2)	2	人	2,833,348	3,100,000	2,806,245	3,110,000	2,761,796	3,130,000	88.8					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	147,706	162,270	150,883	164,286	141,241	158,458	平成28年度 予算執行率(%)	86.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	80,770	95,377	91,033	92,308	84,386	94,371						
	職員数	常勤職員数	8	人	4.21	4.00	4.49	5.00	5.51	5.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	37,090	35,240	39,274	43,735	47,177	42,810					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	184,796	197,510	190,157	208,021	188,418	201,268						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	42,797	45,551	43,906	48,108	43,696	47,379						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	184,796	197,510	190,157	208,021	188,418	201,268						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	547
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		設備保守管理委託	7	館	84,122
		光熱水費	7	館	42,354
		施設修繕・消耗品等購入	7	館	11,684
	その他（賃借料ほか）			3,081	
(2) 事業実績	中央図書館及び地域図書館における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	老朽化した中央図書館及び地域図書館の実情に即して、関係各課と連絡・調整を行い適切な維持管理に努めています。 なお、老朽化施設の改築・改修については、今後も実行計画及び区立施設再編整備計画等に基づき、蔵書規模の適正化の取組や図書館の電子情報サービスの充実等に合わせ、計画的に対応していきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00532)

事務事業名称		生涯スポーツ振興事業				款	07	項	06	目	01	事業	001	整理番号	548			
現担当課名		スポーツ振興課		係名		事業係		連絡先電話番号		1674		昨年度整理番号		547				
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業				
事務事業の概要	事業開始		昭和37年度															
	平成28年度担当課名		スポーツ振興課						事業評価区分		一般							
	対象		スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者		根拠法令等		(1)		社会教育法第3、5条、スポーツ基本法第22条、32条		(2)		杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。		活動指標		指標名(1)		各種生涯スポーツ事業回数		指標説明		共催件数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		第28期(平成28~29年度)スポーツ推進委員(26名)と、地域拠点活動や、綱引き大会、キンボールスポーツ交流大会などのレクリエーションスポーツの普及啓発、重度心身障害者スポーツ教室(わいわいスポーツ教室)をボランティア等と年6回開催、交流自治体スポーツ交流:交流自治体中学生野球大会を、区内の体育施設のほか、西武プリンスドームで実施		成果指標		指標名(1)		各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数		指標説明		生涯スポーツ振興事業の延べ参加者数					
						指標名(2)		各種事業ボランティア等人数		指標説明		生涯スポーツ振興事業7事業の実行委員・ボランティアの延べ人数						
区分		単位		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成28年度						
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)				
指標	活動指標(1)		1 回		35		35		39		36		45		44			
	活動指標(2)		2 件		37		36		35		35		36		36			
	成果指標(1)		3 人		2,333		1,900		2,414		2,200		3,181		4,600			
	成果指標(2)		4 人		592		490		629		630		632		685			
事業費		5 千円		23,854		26,414		22,543		27,370		24,991		29,722		平成28年度 予算執行率(%) 91.3		
(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項		
(内)委託費		7 千円		934		147		144		164		149		727		平成27年度から、すぎなみ物産ファミリー駅伝・区民歩こう会等事業を(公財)杉並区スポーツ振興財団に事業移管したことにより、予算が縮減しています。		
職員数	常勤職員数		8 人		4.86		4.65		4.80		4.85		5.79		5.40		平成29年度から、オリンピック・パラリンピック普及啓発事業が生涯スポーツ振興事業に含まれることになりました。	
	再任用職員数		9 人		0.00		0.15		0.12		0.00		0.00		0.00			
	非常勤職員数		10 人		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00			
人件費	常勤職員分		11 千円		42,817		40,967		41,986		42,423		49,574		46,235			
	再任用職員分		12 千円		0		608		497		0		0		0			
	非常勤職員分		13 千円		2,830		2,830		2,935		2,935		2,971		2,971			
総事業費(5+11+12+13)		14 千円		69,501		70,819		67,961		72,728		77,536		78,928				
単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		1,985,743		2,023,400		1,742,590		2,020,222		1,723,022		1,793,818				
財源	受益者負担分		16 千円		515		0		0		0		0		0			
	国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
	都からの補助金等		18 千円		72		0		769		0		1,365		1,500			
	その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
	特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		587		0		769		0		1,365		1,500			
	差引:一般財源(14-20)		21 千円		68,914		70,819		67,192		72,728		76,171		77,428			
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.7		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	548
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		交流自治体とのスポーツ交流(中学生軟式野球、バレーボール)	217	人	9,775
		中学校対抗駅伝の開催	422	人	6,180
		体育団体活動の奨励	24	事業	4,380
		スポーツ推進委員	26	人	3,255
		その他(わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章 ほか)			1,401
(2) 事業実績	<p>交流自治体中学生親善野球大会では、6自治体8チームが参加し、上井草スポーツセンターに加え、西武プリンスドームでも試合を行ったほか、台北市の中学生の区立中学校への学校訪問や、けん玉や茶道などの日本文化体験を充実させました。</p> <p>また、体育団体等に対し、共済事業36件、後援事業118件の活動助成を行いました。体育大会等で優秀な成績を収めた36組275名に対し、スポーツ栄誉章を授与しました。</p> <p>さらに、スポーツ推進委員による地域拠点活動を34回実施し、1,754人が参加しました</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>【区民意向調査】 (5年前との比較) 健康状態について、「非常に健康である」、「だいたい健康である」の割合 H23:86.0% H28:83.5% 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H23:21.7% H28:24.3%</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>成果指標(1)事業参加者数が増加しています。また、成果指標(1)のうち、スポーツ推進委員の地域拠点活動については、より地域に密着した活動を重点にして取り組んできたことにより、参加者数は、平成27年度は823人でしたが、平成28年度は1754人に増え、地域に根付いた活動が広がっています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成28年のリオオリンピック・パラリンピック競技大会開催や、3年後の東京2020大会の開催に向けて、スポーツへの関心が高まっており、特に障害者スポーツやボランティアに関する意識の高まりが予想されます。今後は、スポーツをする場やスポーツボランティアとして活躍する場を、様々な機会を捉えて提供してまいります。また、各スポーツ団体等への支援の充実を図るとともに、スポーツ推進委員の地域拠点活動を継続して、生涯にわたる仲間づくり・健康づくりを進めます。</p>			
評価と課題	<p>スポーツ推進委員の地域拠点活動については、地域のニーズに応じた活動が徐々に増え、参加者数が増えたほか、各事業への多くのボランティア等の参画もありました。交流自治体中学生親善野球大会は、6自治体8チームが参加し、上井草スポーツセンターに加え、西武プリンスドームでも試合を行いました。</p> <p>健康スポーツライフ杉並プランに基づく、すぎなみスポーツアカデミーの修了者がスポーツ推進委員に応募する例が増えており、スポーツ始めキャンペーンと共に、スポーツを「始める」「続ける」取組を進めるなど、複数のアプローチによる運動・スポーツ施策の推進が課題です。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運を、する、観る、支えるといったスポーツへの多様な関わりにつなげ、スポーツによる人と人、人と地域の絆づくりを進めていきます。</p> <p>スポーツ推進委員については、引き続き、増員に向けて関係団体等への協力の呼びかけを行うとともに、委員の継続率を高め、区民の自主的・継続的な地域スポーツ活動の推進に資するよう、環境づくりを図ります。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00533)

事務事業名称		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	07	項	06	目	01	事業	002	整理番号	549	
現担当課名		スポーツ振興課		係名		施設管理係		連絡先電話番号		1676		昨年度整理番号		548		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 5年度														
	平成28年度担当課名	スポーツ振興課				事業評価区分		一般								
	対象	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団				根拠法令等		(1) 社会教育法第3、5条 (2) スポーツ基本法第34条								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。				活動指標		教室参加者数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が行う、「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等に必要経費を助成する。				指標説明		教室事業開催数								
						成果指標	運動・スポーツをしていない人の割合									
						指標説明	区民意向調査による									
						指標名(2)	利用者満足度									
						指標説明	利用者満足度調査									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 教室	71,035	80,000	60,335	80,000	59,992	80,000	75.0							
	活動指標(2)	2 種目	218	304	242	300	261	364	87.0							
	成果指標(1)	3 %	27.7	26	24.6	24	27.0	24	112.5							
	成果指標(2)	4 %	83.3	85	78.1	85	87.0	85	102.4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	78,560	81,037	75,193	84,135	84,135	86,539	平成28年度予算執行率(%)	100.0						
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0								
	職員数	常勤職員数	8 人	0.30	0.40	0.40	0.30	0.30	0.30							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,643	3,524	3,499	2,624	2,569	2,569							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	81,203	84,561	78,692	86,759	86,704	89,108								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	1,143	1,057	1,304	1,084	1,445	1,114								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21 千円	81,203	84,561	78,692	86,759	86,704	89,108								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	549
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		運営等補助	1	団体	84,135
(2) 事業実績	<p>公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、補助金を支出しました。                  公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、より公益性の高い事業を展開するため、財団のあり方等の検討を行いました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和61年10月から任意団体の杉並区スポーツ振興会が、体育施設の管理運営を受託していましたが、平成5年10月に組織の法人化を図り、財団法人杉並区スポーツ振興財団として引続き体育施設の管理運営を行うとともに、より広範囲な区民のスポーツ活動を支援することになりました。                  平成18年度に区が体育施設に指定管理者制度を導入し、補助金のうち、施設の管理運営にかかる経費を別途支出することとしました。                  平成24年4月から、より公益性を高めるため公益財団法人に移行しました。                  平成26年10月にスポーツ振興財団として26年度から3年間の杉並区スポーツ推進プランを策定し、計画的に区民へのスポーツを推進していくこととしました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>スポーツ振興財団と区の役割が分かりにくいという声があります。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、健康意識の高まりなど、社会における運動・スポーツの必要性がますます高まっていくと予測されます。子ども、高齢者、障害者などの対象に応じた事業の提供を行うとともに、スポーツに関する地域の情報の収集・発信、人材育成など多くの区民が安全にスポーツ・運動を楽しめる環境を整備していくことが求められています。</p>			
評価と課題	<p>地域スポーツ振興の担い手として、区から移管された「ファミリー駅伝」や「区民歩こう会」を実施するほか、スポーツアカデミーの講座実施、区のスポーツ分野の広報紙の発行など、公益財団法人として公益性の高い事業を実施しました。また、荻窪体育館外2施設及びび下高井戸運動場外1施設の指定管理者(平成29年度~33年度)として選定されるなど、積極的な事業運営に取り組んでいます。今後も、財団と連携しながらスポーツを推進する環境づくりを進めるとともに、地域スポーツの担い手として、公益性の高いスポーツ事業をより多く提供できる団体となるよう、組織のあり方等を見直していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
		<p>区のスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」では、スポーツ振興財団を計画推進の最も重要な実施主体と位置付け、民間事業者と異なる視点で、地域スポーツ団体等をコーディネートしながら、公益性の高い事業を展開していくことが求められています。そこで、財団が指定管理者として運営している施設や区が財団に委託している施設の運営状況を見極めながら、今後一層、生涯にわたり区民が自主的・継続的にスポーツに親しめるような事業提供を中心とした業務を推進できる組織となるよう、体制、経営基盤などを見直していきます。</p>			



# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	550
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		スポーツアカデミーの運営	5	講座	3,248
		スポーツ始めキャンペーンの実施	414	人	1,159
		総合型地域スポーツクラブの支援			318
		スポーツライフ杉並プラン推進懇談会の開催	1	回	76
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>すぎなみスポーツアカデミーでは、指導者、コーディネーター、小学生親子、障害者サポーター等の講座のほか、修了者を対象としたフォロー研修を開催しました。また、総合型地域スポーツクラブの支援については、引き続き既存のスポーツクラブの運営支援を行うとともに、学校開放団体等とクラブ設立に向けた意見交換を行いました。さらに、健康づくり推進期間に合わせ、日頃スポーツ・運動を行っていない人を対象に、きっかけづくりとなる「スポーツ始めキャンペーン」の対象施設を全区内に拡大し、民間施設を含めた13施設で実施しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成23年度に、スポーツに関する施策を総合的に推進するため、国にスポーツ庁が設置されるとともにスポーツ基本法が制定されました。 平成25年度に、スポーツ基本法に基づく「地方スポーツ推進計画」として、スポーツ・運動を通じた区民の健康づくり・仲間づくりに取り組む「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定しました。また、2020年オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決まりました。 平成26年度には、すぎなみスポーツアカデミー事業を開始しました。 平成27年度には、スポーツ始めキャンペーンを、地域を限定して実施しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>地元のトップアスリートと連携した事業の展開、誰もが参加しやすいようなスポーツ・運動機会の充実、指導者の養成、民間施設の活用も含めた体育施設の整備などに意見が多く寄せられました。すぎなみスポーツアカデミーは、講師の顔触れや講義内容が充実しているとの声が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成28年にリオオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、さらに、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が近づくことで、スポーツのみならず、ボランティアや障害者スポーツへの意識の高まりが予想されます。平成29年度のスポーツ推進計画の改定にあたって、オリンピック・パラリンピックを契機として区民のスポーツへの関心を高める取組を一層充実させてまいります。</p>			
評価と課題	<p>計画に基づく取組の推進に努めましたが、指標に掲げた「成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率」は、平成27年度を下回る結果となりました。これを踏まえ、今後とも、事業の充実とより効果的な周知等を図るとともに、平成29年度はスポーツ推進計画の改定を行い、時代の変化等を見据えた更なるスポーツ振興につなげていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成29年度に、区民アンケートやスポーツ推進計画の進行管理を通じてスポーツ推進計画を検証し、保健福祉分野等とも連携しながら推進計画を改定します。平成30年度からは、現計画の主要事業であるすぎなみスポーツアカデミー、スポーツ始めキャンペーンの充実を図るとともに、総合型地域スポーツクラブの立ち上げ支援をはじめ、関係課と連携しながら、計画に掲げる事業を着実に進めていきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00670 ）

事務事業名称		次世代トップアスリートの育成			款	07	項	06	目	01	事業	004	整理番号	551	
現担当課名		スポーツ振興課		係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	550			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	臨時事業		
事務事業の概要	事業開始	平成26年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成28年度担当課名	スポーツ振興課			事業評価区分 一般										
	対象	次世代のトップアスリートを目指す青少年等			根拠法令等	( 1 )		杉並区次世代トップアスリート育成・支援検討会設置要領							
						( 2 )									
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、次世代のトップアスリートを目指す青少年等を地域ぐるみで育成・支援することで、オリンピック・パラリンピック競技大会への気運を高め、地域を活性化するとともに、青少年の健全育成を図る。			活動指標	指標名（ 1 ）		チャレンジアスリート開催回数							
					指標説明		検討会開催回数からチャレンジアスリート開催回数に変更								
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	オリンピック選手による実技指導、パラリンピック種目体験などを通じて、スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ「育成プログラムによる環境づくり（チャレンジ・アスリート）」を開催する。			成果指標	指標名（ 1 ）		チャレンジ・アスリート参加者数								
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（ 1 ）	1 回	1	1	1	3	3	4	100.0						
	活動指標（ 2 ）	2													
	成果指標（ 1 ）	3 人	74	80	54	85	129	150	151.8						
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,398	6,000	3,332	6,000	3,535	4,000	平成28年度予算執行率（%）	58.9					
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7 千円	322	772	715	1,683	1,681	0	本事業は平成26年度に新規に立ち上げ、検討会を設けて取組内容を検討してきたが、開催から3年たち実施形態が確立したため、活動指標を「検討会の開催」から「チャレンジアスリートの開催回数」に変更しました。						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.65	0.60	0.59	0.65	0.64	0.60						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	5,727	5,286	5,161	5,686	5,480	5,137						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費	14 千円	9,125	11,286	8,493	11,686	9,015	9,137							
	単位当たりコスト	15 円	9,125,000	11,286,000	8,493,000	3,895,333	3,005,000	2,284,250							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	801	0	890	1,000						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	0	0	801	0	890	1,000							
差引：一般財源		21 千円	9,125	11,286	7,692	11,686	8,125	8,137							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 551			
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		チャレンジ・アスリートの実施	3	回	3,056
		実施報告書の印刷	1,000	部	479
		その他( )			
事業開始当初から現在までの変化	(2) 事業実績	<p>スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ「チャレンジ・アスリート事業」について、従来の1シリーズ3日間のカリキュラムであった実施形態を見直し、7月(陸上競技・サッカー)、10月(テニス・障害者陸上)、2月(体操・車いすバスケ)の各1日の単発開催とし、異なる学年の小中学生を対象にオリンピック選手との交流体験やパラリンピック種目体験を実施しました。</p>			
		<p>平成25年9月に2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定し、オリンピックに向けて、選手育成団体・選手強化事業等の支援についての検討を始めました。平成26年度に次世代トップアスリート育成・支援検討会において、基礎自治体としての取組は、一部のスポーツ・エリート育成ではなく、誰もが参加可能な育成プログラムによる環境づくりを行うこと、将来的に国際大会等への出場支援を検討すること、次世代育成基金の更なる充実を視野に入れることを確認し、平成27年1月から事業化をしました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>チャレンジ・アスリート事業については、参加対象の拡充を求める声や、より多くの子どもたちが参加しやすい事業実施への意見が寄せられていました。3日間の事業として行っていた形を見直し、単発の開催にしたところ、非常に多くの申し込みがあり、事業に対する期待が大きいことが分かりました。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>平成28年のリオオリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、オリンピック・パラリンピック、スポーツ全般への区民の関心が高まっており、子どもたちの期待に応えられるよう事業の充実を図ります。</p>			
	評価と課題	<p>「チャレンジ・アスリート事業」では、より多くの方が参加できるように、実施カリキュラムを見直したところ、指標である「チャレンジ・アスリート事業参加者数」は目標を上回る参加を得ました。今後は、「するスポーツ」の体験のみならず、「支えるスポーツ」の体験を加えるなどにより、実施内容の一層の充実を図っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>育成プログラムによる環境づくり(チャレンジ・アスリート)について、より多くの子どもたちが参加できるよう、実施時期やプログラム内容、対象者を見直します。また、子どもたちがより良い指導が受けられるよう、すぎなみスポーツアカデミーによる指導者養成の充実を図るほか、チャレンジアスリートの講師の指導法は大変参考になるため、学校や地域の指導者の視察の受け入れを積極的に行い、ジュニア期のスポーツ環境の向上に寄与していきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00535)

事務事業名称		体育施設の維持管理				款	07	項	06	目	02	事業	001	整理番号	552
現担当課名		スポーツ振興課				係名		施設管理係		連絡先電話番号		1676		昨年度整理番号	552
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和30年度													
	平成28年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分		施設維持管理			
	対象	施設利用者(区民、団体等)				根拠法令等		(1)		社会教育法第3、5条					
								(2)		スポーツ基本法第12条					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				活動指標		指標名(1)		延べ利用者数					
					指標説明		指標名(2)								
					指標説明		指標名(2)								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	運動場 13か所 体育館 6か所 プール 5か所 けやき公園プールは平成28年11月末に廃止 高井戸温水プール(高井戸市民センターを含む) 荻窪体育館と高円寺体育館と松ノ木運動場、下高井戸運動場(下高井戸区民集会所を含む)の指定管理者の選定				成果指標		指標名(1)								
					指標説明		指標名(2)								
					指標説明		指標名(2)								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 人	1,564,206	1,563,000	1,519,566	1,570,000	1,566,063	1,570,000	99.7						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	918,969	940,375	896,697	969,565	909,520	889,152	平成28年度 予算執行率(%)	93.8					
	(内)投資的経費等	6 千円	33,183	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	819,984	823,058	809,477	844,073	828,765	788,175	妙正寺体育館 平成26年4月から28 年9月まで改装のため 休場。28年10月から指 定管理者制度により運 営。						
	職員数	常勤職員数	8 人	3.78	2.10	3.17	2.30	3.05	2.80						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50						
		非常勤職員数	10 人	0.80	0.80	0.80	1.00	1.54	1.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	33,302	18,501	27,728	20,118	26,114	23,974						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	2,195						
		非常勤職員分	13 千円	2,264	2,264	2,348	2,935	4,575	2,971						
	総事業費	14 千円	954,535	961,140	926,773	992,618	940,209	918,292							
	単位当たりコスト	15 円	589	615	610	632	600	585							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源		21 千円	954,535	961,140	926,773	992,618	940,209	918,292							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 552

平成28年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）	
(1) 主な取組	管理運営（指定管理者）高円寺体育館ほか3施設	4	施設	144,377	
	管理運営（指定管理者）上井草スポーツセンター及び妙正寺体育館	2	施設	210,789	
	管理運営（指定管理者）大宮前体育館	1	施設	139,000	
	管理運営（指定管理者）高井戸温水プール	1	施設	93,120	
	その他（維持管理経費、業務委託費ほか）				322,234
(2) 事業実績	<p>指定管理者制度導入施設8施設、業務委託施設9施設、公園併設の4施設の管理運営業務を行うとともに、都との協定に基づき、都立高校の体育館を区民のスポーツ活動の場として活用しました。また、平成28年度末に指定管理期間が満了を迎える5施設及び平成28年10月開館の妙正寺体育館について、規模、地域などを考慮し、スケールメリットを活かして効率的・効果的な運営ができるようグループ化して、指定管理事業者を選定しました。施設の修繕では、杉並第十小学校温水プール槽を塗装し直し、防水効果を高めるとともに、プールを快適に利用していただけるようになりました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>平成28年度末に指定管理期間が満了する体育施設について、スケールメリットを活かした効率的な運営やサービスの向上を図るため、新たに松ノ木運動場を加えて、エリア別にグループ化して指定管理者の選定を行いました。また、体育施設のトイレの洋式化工事を実施するなど、施設修繕を計画的に進めました。今後の課題ですが、平成30年開設予定である永福体育館の指定管理者の選定を行うとともに、体育施設指定管理者評価委員会の意見を踏まえ、グループ化した体育施設が効率的な運営やサービスの向上に一層つながるよう努めてまいります。また、老朽化した体育施設の大規模修繕に対応するため、総合的な修繕計画作成に向けた検討を進めていきます。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00537）

事務事業名称 妙正寺体育館の改築				款 07	項 06	目 03	事業 003	整理番号 553				
現担当課名 スポーツ振興課		係名 体育施設改築準備担当		連絡先電話番号 1678		昨年度整理番号 553						
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標 05	施策 29	計画事業 02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成28年度担当課名	スポーツ振興課					事業評価区分 一般					
	対象	施設利用者（区民、団体等）		根拠法令等	(1)	スポーツ基本法第12条						
					(2)	杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	妙正寺体育館を改築する。		活動指標	指標名（1）	実施設計進捗率						
			指標説明	指標名（2）	改築工事進捗率							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成24年度 基本方針の策定、地盤調査・測量、基本設計		指標説明									
	平成25年度 実施設計		成果指標	指標名（1）	改築工事進捗率							
	平成26年度 建設工事		指標説明	指標名（2）								
	平成28年度 竣工・供用開始		指標説明									
区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度				
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1	%	0	0	0	0	0	0.0			
	活動指標（2）	2	%	20	84	81	100	100	0	100.0		
	成果指標（1）	3	%	20	84	81	100	100	0	100.0		
	成果指標（2）	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	411,733	547,700	547,276	760,731	748,228	0	平成28年度 予算執行率(%)	98.4	
	（内）投資的経費等	6	千円	411,733	547,700	546,997	760,731	748,228	0	特記事項		
	（内）委託費	7	千円	411,733	547,100	546,997	721,834	715,393	0			
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		再任用職員数	9	人	0.80	1.00	1.02	1.00	1.01	0.00		
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	0	0	0	0	0		
		再任用職員分	12	千円	3,240	4,050	4,222	4,139	4,434	0		
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	414,973	551,750	551,498	764,870	752,662	0			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	0	0	0	0	0	0			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18	千円	5,170	0	94,830	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	5,170	0	94,830	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	409,803	551,750	456,668	764,870	752,662	0			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		553	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		改築工事			
		工事監理			7,236
		初度調弁			32,378
		落成式			960
		その他（ ）			8
事業環境の変化と方向性	(2) 事業実績	平成28年度は、6月に改築工事を竣工し、従来の大体育館に加え、小体育室を整備するなど機能の拡充を図りました。また、区民サービスの向上及び効率的な運営を行うため、近隣の上井草スポーツセンターと一体的に運営する指定管理者を選定し、10月に施設を開設しました。			
	事業開始当初から現在までの変化	平成25年度は、改築を行う敷地の測量調査・登記及び地盤調査を行いました。基本計画、基本設計、既存建物解体工事、改築工事に関する住民説明会をそれぞれ開催し、近隣との調整を図りました。また、26年度から改築工事に着手し、27年度は改築工事を進めました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	現在の良好な生活環境が確保される改築が求められています。改築に合わせて施設機能の充実を図り、地域のスポーツの拠点として、高齢者の健康増進や子どもたちの体力向上の場としての役割を担う施設の建設が求められています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	地域を面として捉えたスポーツイベントの実施やスケールメリットを活かした効率的な運営を指定管理者とともに取組んでまいります。			
	評価と課題	平成28年7月に竣工するとともに、近隣にある上井草スポーツセンターと一体的に運営する指定管理者を選定して、10月からリニューアルオープンしました。今後の課題ですが、地域を面として捉えたスポーツイベントの実施やスケールメリットを活かした効率的な運営を指定管理者とともに取組んでまいります。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
		平成28年7月に改築工事が竣工し、本事業は終了しました。平成28年10月からの指定管理者による施設運営については、事務事業「体育施設の維持管理」に含まれます。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00671）

事務事業名称 永福体育館の移転改修			款 07	項 06	目 03	事業 004	整理番号 554				
現担当課名 スポーツ振興課		係名 体育施設改築準備担当係長			連絡先電話番号 1678	昨年度整理番号 554					
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 29 計画事業 02			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成28年度担当課名	スポーツ振興課				事業評価区分 一般					
	対象	施設利用者（社会体育団体登録構成員、個人登録者等）		根拠法令等 (1) (2)	スポーツ基本法第12条 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	永福体育館を旧永福南小学校に移転改修し、誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した地域スポーツ活動の拠点として整備する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	実施設計進捗率  測量調査進捗率						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成26年度 地盤及び測量調査 平成27年度 実施設計 平成28年度 設計変更 平成29年度 改修工事 平成30年度 竣工・供用開始予定		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	地盤調査進捗率  実施設計進捗率						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1	%	100	100	100	100	100	0	100.0	
	活動指標（2）	2	%	100	0	0	0	0	0	0.0	
	成果指標（1）	3	%	100	0	0	0	0	0	0.0	
	成果指標（2）	4	%	100	100	100	0	0	0	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,754	29,815	29,676	336,942	301,419	407,227	平成28年度 予算執行率(%) 89.5	
	（内）投資的経費等	6	千円	1,754	29,815	29,676	336,942	301,419	407,227	特記事項 主に、改修工事費（建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事）の設計に差額が生じたためにより、執行率が9割未満になりました。	
	（内）委託費	7	千円	1,754	29,815	29,676	336,698	301,309	406,627		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		再任用職員数	9	人	0.20	1.00	1.00	1.00	1.01		0.50
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	0	0	0	0		0
		再任用職員分	12	千円	810	4,050	4,139	4,139	4,434		2,195
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	2,564	33,865	33,815	341,081	305,853	409,422		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	8,100	40,500	41,390	41,390	44,340	0		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	2,564	33,865	33,815	341,081	305,853	409,422		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	554
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	事業費（千円）
		改修工事	1	所	284,200
		実施設計（変更）			5,940
		調査・測量			3,069
		工事監理			7,100
		その他（建設事務費）			1,110
	(2) 事業実績	<p>老朽化した永福体育館の移転改修計画については、平成28年7月に、敷地の一部に保育施設を整備するとして方針変更に伴い、設計及びスケジュールの変更を行いました。また、平成30年6月竣工（9月開設）に向け、補正予算化や工事契約等の手続きを着実に進めました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>現在の永福体育館は築50年が経過し老朽化が著しいため、平成25年度に施設再編・整備計画の策定に際し、旧永福小学校跡地を活用して移転・改修することとしました。その後、平成26年度に測量調査、平成27年度に実施設計を行いました。平成28年度に、地域の保育需要を踏まえ、敷地の一部に保育件を整備する方針変更に伴い、駐輪場等を立体化するなどの実施変更を行いました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ビーチコートではなく、保育施設を整備して欲しいとの声が寄せられる一方、2020オリンピック東京大会における外国チームの事前キャンプ地誘致やスポーツ活動の拠点として地域の活性化が期待できるとした声も寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成30年6月の工事竣工・9月開館を予定しております。また、ビーチコートの活用については、ビーチバレーボールの国際規格の取得手続きを進めるとともに、日本バレーボール協会の協力を得て外国チームの事前キャンプ地誘致の取組を進めていきます。さらに、子どもから高齢者まで多様な世代の健康事業等での活用について、砂場の健康事業の研究者や介護事業者の取組を参考に事業プログラムを検討していきます。</p>			
	評価と課題	<p>地域の保育需要数等の見込みを踏まえ、敷地の一部を保育施設に活用するとして整備方針の変更を受け、屋外運動広場等の設計変更を行うとともに、補正予算化や工事契約等の手続きを進めました。今後の課題としては、平成30年9月開設に向け、改修工事の進行管理を行うとともに、運営主体となる指定管理者の選定を進めていきます。また、屋外ビーチコートについて、オリンピックに際し外国チームのキャンプ地としての活用も視野に、ビーチバレーボールの国際規格の取得手続き等を進めます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成30年6月竣工、9月開設に向けて、工事管理を的確に進めるとともに、指定管理者を選定します。また、オリンピックにおける外国チームの事前キャンプ地誘致に向け、日本バレーボール協会の協力を得ながら、外国チームへ個別のアプローチ等に取り組みます。</p>			